

# 2023年度 通常総代会 議案書

## 【議案】

- 第1号議案 2022年度事業報告書および決算関係書類等承認の件
- 第2号議案 北大生協3ヶ年再生計画承認の件
- 第3号議案 2023年度事業計画及び予算承認の件
- 第4号議案 役員報酬限度額決定承認の件
- 第5号議案 定款一部改正の件
- 第6号議案 議案決議効力発生の件  
役員選挙

2023年5月25日（木）

18：00 受付開始 18：30 議事開始

北海道大学構内 工学部オープンホール（B-21 教室）

北海道大学生生活協同組合

# 設立趣意書

北海道大学生生活協同組合

敗戦後、新たな意志と目標とを持って再び学校に戻って来た学生を迎えたのは不完全経済の波であり、荒狂うインフレの波であった。その混乱のさなかに北海道大学協同組合は生まれた。「学園の自治」「学問の自由」を守るためには学生も教職員ともに、まず自らの生活を自らの手で守らねばならなかったのである。爾来十年、幾多の曲折はあったが北大協同組合は常に組合員相互の信頼をもとに組合員の総意によって運営され、学園の福利厚生施設の改善整備に、組合員の文化的、経済的生活の向上に大きな役割をはしてきた。

近来「戦後は終わった」ということが各方面で叫ばれ、特に昨年は経済界が、それこそ「神武以来の好景気」に湧いたといわれたが、私たちの生活は決して楽なものではない。むしろ国鉄運賃、消費者米価の値上げは直接間接を問わず、私たちの生活に大きな影響を与えている。しかも、よりよい学園生活の建設を目指す私たちの運動に対する圧迫は最近ますます激しさを加え、私たちの正当な権利を否定しきろうとしている。この時にあたり、私たちは協同組合の使命の重大さを改めて痛感するとともに、この組合の社会的な信用を一層高め、その基礎をより強固なものにしなければならないと考える。以上の理由から北海道大学協同組合は消費生活協同組合法に則り「北海道大学生生活協同組合」として新たに発足しようとするものである。

北大生協は、1947年（昭和22年）6月13日に、当時の大学厚生部が中心になり、「北海道大学協同組合」として、伊藤誠哉学長（当時）を初代理事長に設立された。このときに設立趣意書も作成されたのではないかと思われるが、史料が残っていない。

北海道大学協同組合は1957年（昭和32年）11月1日に法人化のための総会を行い、ここで名称を「北海道大学生生活協同組合」に改めこの設立趣意書を採択した。

1957年版の設立趣意書については何種類かの版が今日に伝わっている。（句読点や改行の位置、「とき」とするか「時」とするか、などの違いがある。）これは、1975年9月発行の「北大生協創立二十五年史」に掲載されている設立趣意書である。

(2006.06.23 専務理事 柳田記)

## 2023 年度通常総代会 議事次第

1. 開会宣言
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 書記・議事運営委員指名
5. 議事
  - 第 1 号議案 2022 年度事業報告書および決算関係書類等承認の件
  - 第 2 号議案 北大生協 3 ヶ年再生計画承認の件
  - 第 3 号議案 2023 年度事業計画及び予算承認の件
  - 第 4 号議案 役員報酬限度額決定承認の件
  - 第 5 号議案 定款一部改正の件
  - 第 6 号議案 議案決議効力発生の件
- 役員選挙
6. 閉会宣言

以上の議案に関し、活発なご審議のうえご承認いただきますようお願い致します。

代表理事 理事長 坂爪 浩史  
代表理事 専務理事 小助川 誠  
他理事一同

# 第1号議案 2022年度事業報告書および決算関係書類等承認の件

## 2022年度事業報告書及び決算関係書類

### これらの附属明細書

(全 期)

自 2022年3月 1日

至 2023年2月28日

#### I 事業報告書

##### 【1】組合の事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容
2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題
3. 増資および資金の借入その他の資金調達状況
4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況
5. 他の法人との業務上の提携
6. 他の会社の株式または持分の取得
7. 合併その他の組織の再編
8. 教育事業等の状況
9. 員外利用の状況

##### 【2】組合の運営組織の状況に関する事項

1. 前事業年度における総代会の開催状況
2. 組合員に関する事項
3. 役員に関する事項
4. 職員数およびその増減その他の職員の状況
5. 業務の運営の組織に関する事項
6. 施設の設置状況に関する事項
7. 子会社等及び関連法人等の状況に関する事項
8. 事業連合に関する事項
9. その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項

#### II 事業報告書の附属明細書

#### III 決算関係書類（損失処理案を除く）

- (1) 貸借対照表
- (2) 損益計算書
- (3) 注記

#### IV 損失処理案

#### V 決算関係書類の附属明細書

# I 2022 年度事業報告書

2022 年 3 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日まで

作成 2023 年 3 月 29 日

備付 2023 年 4 月 22 日

北海道札幌市北区北 8 条西 7 丁目 1 番地 1

北海道大学生協同組合

理事長 坂爪 浩史

## 【1】組合の事業活動の概況に関する事項

### 1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給及び 利用事業	物品供給	書籍、文具、教育機器、衣料白衣、電気製品、家具、その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業
	サービス提供	組合員に食事を提供する事業 アパートや学生会館の斡旋及び管理する事業、国内旅行・海外留学等の旅行業務を取り扱う事業、公務員講座や業界セミナーなど就職活動にかかわる事業、その他日常生活に必要なサービスを提供する事業
その他		組合員の生命と財産を守る学生総合共済、学生賠償責任保険等の共済・保険の業務委託事業

### 2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

#### 2-1 事業の経過及びその成果

##### <はじめに>

2022 年度中も新型コロナウイルス感染症の第 7 波、第 8 波の影響が続きましたが、北海道大学は対面授業が復活しキャンパスに活気が戻りました。2023 年 5 月には感染法上の分類が「2 類」から季節インフルエンザと同じ「5 類」に引き下げられることが決まり、マスク着用の要請も緩和されるなどオンライン授業やリモートワークなどコロナ禍で得た新しいライフスタイルを持ち合わせながら、今後は with コロナの社会へ移行していくと予想されます。

2022 年度は、北大生協の事業推進の要は、北大生協が大学コミュニティにおいて価値ある存在として、組合員のキャンパスライフに一番寄り添っている存在として、組織活動、事業活動の中に組合員の参加を中心に据え、担っている福利厚生事業の役割を着実に果たしていくことが「北大生協の再生」の核心であることを、すべての組合員の皆さまにご認識とご理解をお願いして「危機感を共有」し、2022 年度経営構造の変革につなげ単年度黒字を目標にすることを通常総代会で議決をしました。

## ●2022 年度活動テーマ

北海道大学ならびに大学構成員（学生・院生・教員・職員）の皆さんとともに  
北大生協は「北大の中にある自分たちの生協」であるという価値を再確認できるよう  
担っている福利厚生業務の役割を、着実に果たしていきます

### ○方針 1. 組合員の参加を強化し組織運営を強めます

経営再建には、組合員及び大学構成員（学生・院生・教員・職員）の参加と協力が不可欠です。生協運営の基本である「組合員を中心に置いて」北大生協の組織を活性化させ、実現した事を「みえる化」することで組合員の信頼を高めます。組合員の参加と組合員と生協職員のコミュニケーションの強化で経営危機を乗り越えていけるように、広く経営状況や事業再建のための課題の共有に努めます。

#### （1）組織委員は積極的に運営に参加する組合員であり、学生・院生・教職員委員会の強化は重要な課題です

学生委員会は 1 年生が 30 名加入してくれました。規模も大きくなり、「店舗企画」、「自転車点検再開」、「オープンキャンパス」、「新学期活動」などできる活動が広がりました。院生委員会は 3 名加入し 6 名で活動することができました。「院生フェスタ」を開催し専門を越えた学生同士の交流で活性化させる、院生の生活スタイルを知ることで、大学院生の利用したい生協店舗作りにつなげる、「ほんでないかい」の発行では院生が読んでいる本を他の学生に知ってもらう取り組みをしました。教職員委員会は 5 名で活動しました。「フォトコンテスト 2022」の再開、「きぼうの虹」400 号発行をさせ引き続き定期発行につなげてもらえました。教職員加入キャンペーンでは教職員加入案内で広く訴求することに協力をいただきました。

#### （2）総代会議、組合員（利用者）ミーティングを開催して、その議論を店舗政策へ反映させ実現する

理学部（8/5）、農学部（7/29）、薬学部（11/28）、保健学科（11/30）、水産キャンパス（11/28）でミーティングを開催しました。開催時期が学期末だったこともあり参加者を多く集めることが出来ませんでした。薬学部では理事・総代の呼びかけもあり、9 名の参加で開催することが出来ました。学内の生活実態を把握できたことから営業時間の延長を行いました。水産キャンパスでは若手中堅教員と 2024 年春人材育成館の完成に向けて生協購買新店舗への要望を交流しました。教員が地区との連携協力で生協ができることを増やす、学生委員会の復活で活性化させてほしい、生協を頼りにしたいなど水産学部の特徴、必要としている商品の交流ができました。各ミーティングでは異なる階層から広く利用する店舗への要望、組合員が生協の運営に主体的に関わるきっかけをつくることができました。ミーティングの声を基に商品の仕入れを行い店づくりに活かすことが出来ました。

#### （3）各店舗での利用状況を「見える化」することで、組合員の参画の意識を高めていきます

食堂・購買で 4 月から客数カレンダーを掲示しました。開始当初に SNS で話題になるなど認知されています。客数利用の目標達成では商品限定のセールをすることにしました。数店舗で開催することが出来ました。しかし、情報を一方的に伝えているだけなので参画意識を高める事には繋がっていませんので工夫が必要です。

#### （4）学部ごとの利用者アンケート実施とその要望の実現

総代会議、組合員（利用者）ミーティングで要望の実現を反映させることを重点にしたため、アンケートの実施は出来ませんでした。

#### (5) 理事会の討議の活性化

テーマを決めて学習会や集中的に討論する時間を設け意見交換を行いました。(第2回：再生計画、第3回：共済学習会、第4回：新学期活動、第5回：ピースナウ広島参加報告、キャリアサポート店公務員講座とは、第10回：全国大学生協連主催 組合員活動研修セミナー2023 参加報告)

#### (6) 組合員加入の促進、加入率のアップ

教職員向けの加入案内パンフレットを作成しました(12月完成)。1月の広報配布に同封して3000部を配布しました。ガソリンカード、灯油の定期配送、スーツ斡旋、資格講座など日常生活で受けられるサービスを紹介し組合員加入促進を行いました。各種教職員向け加入キャンペーンは、大学生協アプリ広報を強化するため見送りました。

### ○方針2. 大学の期待に応えられる組織体としてアピールしていきます

国立大学の独立行政法人化を踏まえて、2004年に北海道大学と「福利厚生業務に関する業務委託契約」を結びました。その後、施設は老朽化が進んでいますし、コロナ禍でキャンパススタイルの変化も起こっています。そうした中で、大学がめざしている施設整備の方向性であるキャンパス全体を「イノベーションコモンズ(共創拠点)」にすることへ、コミットメントしていく必要があります。また、大学は産業界や地方公共団体などと学生・教員の共創を旺盛に進めています。北大生協もその輪の中に加わるように大学の意思決定に関わる広範な方々と、福利厚生の充実について話し合える信頼関係を築いていきます。

#### (1) 総長、副学長理事との定期面談について、「報告」から「対話」へ

6/30に寶金総長と山口理事・副学長との定期面談を実施しました。理事長、学生委員長、専務理事、常務理事4名で面談をさせていただきました。北大生協75周年、学生総合共済、学生食糧支援、北大生協の経営状況、生協福利厚生施設関連報告と施設課題の議論に初めから含めてほしいこと、新学期活動への協力を報告させていただきました。総長から学生支援への感謝と引続き協力をお願いされました。9/2には75周年記念パンフレットの企画として、坂爪理事長と寶金総長の対談を行いました。北大生協からの提案について意見交換することには至っていません。

#### (2) 学部店のある部局長との面談、学生支援と一緒に取り組む関係の熟成

学務部事務部長(6/22)、農学部事務長(7/19)、薬学部事務長(7/11)、保健学科課長(7/12)、歯学部事務長(7/19)、水産研究院院長・事務長(9/15)と学部の動向、生協、各店舗の経営状況など共有、面談を行いました。店舗のある学部を全て面談することはできませんでした。

利用者数増に伴い、工学部食堂店は3月にポプラ店1Fは11月に事務と調整し席数を19年とほぼ同様に戻してもらうことが出来ました。医学部店は病院と同様の対応を継続するという事で戻すことは出来ておりません。

#### (3) 施設課題の前進のために、関係部局へのプレゼンテーションと連携の強化

①中央食堂2階の購買と食堂の営業業態について、改修の議論を進めます。学内には、学生院生にとっても教職員にとっても「リラックスして滞在できる」スペースが足りないというご要望が多く寄せられています。どのように大学と一緒に実現できるのか、関係部局と話し合いを進めます。

②北部厚生施設は、大学では2022年度での改修工事は見送りとなったようですが、北大生協としてのプランを学務部に提案する準備を進めています。北部厚生施設は、北大生協にとって最も重要な施設です。広く組合員から色々

なアイデアを出してもらい施設プランを検討していきます。

③水産キャンパスの「水産科学未来人材育成館」の建設が確定したとのこと。水産キャンパスの福利厚生にどのような形で貢献できるのか検討します。

水産学部の購買移転について、水産事務（学部長、事務長）、若手中堅教員と意見交換を行いました。北キャンパス（創成研）のグループワーキングに参加しポプラ店への意見をいただく機会を作りました。北部店、中央店については未着手となりました。

### ○方針 3. 重点となる事業領域を定めて推進します

市場環境の変化、大学の授業や生活が大きく変化している中で、多様な組合員ニーズの掘り起しと対応をすすめるとともに、経営資源の集中投資を行う重点となる事業領域として、特に学生院生の新入生を対象とした「新学期事業」と「住まい事業」、すべての組合員を対象にした「食」・「学び」・「公費」をキーワードとします。詳細は、事業計画の中で課題設定をします。

「北大生協 3 ヶ年再生計画」策定委員会を設置し 9 月理事会に答申をしました。「北大生協 3 ヶ年再生計画」の答申については別途提案します。

### ○方針 4. 生協職員の活力を再建の原動力とします

所属長（エリアマネージャー、部門マネージャー、店長）は、現状を当然視せず問題をみつめ優先順位をつけて、それぞれの部門や店舗の課題に沿って部下と目標を確認し、日々の業務を通じて北大生協のパワーの源である「学生の元気」な活動（利用）に繋がる重要な役割を発揮して、「北大生協の元気」に繋がると信じて、事業や諸活動を積極的に展開していきます。

(1) 所属長と面談のうえ、フレンドリー職員まで個人目標を持ちます。所属長の指示を得て目標達成できる職場を作ります。

正規職員の退職者が多く発生し一人の店長が複数店舗の管理運営となりました。フレンドリー職員も同様に退職者が多く発生しました。その後欠員の採用が進まず職員不足で一人一人定着させた業務担当が難しくなり個人の目標設定は行うことができませんでした。職場毎の目標を全体共有することが中心になりました。

(2) 廃棄ロスをコントロールしながら、機会ロスを生むことのない業務のあり方を進めます。

購買部門では半期に一度、発注についての学習会を行いました。

(3) 生協職員の雇用と生活を守ることは、北大生協の社会的責任と考えます。コロナ禍での経営改善策の一環として平均 15%カットしている賃金など、今後の処遇改善を目指します。労働組合との認識共有を常に大切にしながら、課題の解決に労理一体となって対応できるよう進めます。

再生 3 ヶ年計画答申では 2025 年度には賃金カットを終了する計画を策定しました。経営状況を鑑み、前倒して 2023 年度 1 月から月齢賃金については規定通りの支給を行うようにしました。



## ○方針 5. 組合員の暮らしの安全を守ることを推進していきます

(1) コロナ禍でコミュニティや交友関係の縮小で孤立化が進んでいること、学生院生の生活の不安定化が懸念されます。引き続き、学生総合共済の4本柱の活動「加入・給付・報告・予防」を推進します。

理事会内で共済学習会を行いました。運営会議でも給付事例報告を開始しました。学生委員会はアルコールパッチテストによる急性アルコール中毒防止、自転車点検による自転車事故防止の予防提案活動（復活）を行いました。

(2) 理事会委員会である環境課題推進委員会を中心に、SDGs など社会的課題に引き続き取り組んでいきます。

リ・リパック回収、レジ袋・エネルギー消費量の点検の他、年度テーマを設定して取り組みを進めました。フードバンク活動を行っている学生団体からの協力要請を受け、北大生協で発生するフードロス削減を進めるため、店舗営業終了後廃棄になる食品を提供することにしました。

## ○方針 6. 「会員生協再生計画」の策定をします

既に 2019 年に「経営再構築タスク報告」の策定を行いました。北大生協の経営危機度は全国の中でも非常に高いからこそ、20 年度 21 年度の事業方針へ継承して実行してきました。更に、より詳細な数値目標を含めて、全国大学生協連から提起されている「会員生協再生計画」の策定を進めます。また、2021 年 12 月に開催された全国大学生協連総会で、学生総合共済事業をコープ共済連に事業譲渡し、大学生協共済連を解散し、その残余財産を会員生協と大学生協連に分配することを予定した大学生協「再生」基本方針が決定されましたので、その残余財産（2023 年度）の活用について検討します。

全国大学生協連から提起されている「会員生協再生計画」は、2021 年度 4 月第 11 回理事会で「北大生協 3 ケ年再生計画策定」委員会の設置について承認をいただき第 1 回 5/17～第 8 回 8/30 まで委員会を開催しまとめました。2022 年 9 月 7 日臨時理事会を開催し「北大生協再生計画策定」委員会から理事会に答申しました。2023 年 3 月～2026 年 2 月までが実施期間になります。2023 年度はこの「北大生協 3 ケ年再生計画」執行の初年度になります。再生計画を基本に 3 つの方針、組織課題の 4 つ、事業課題 5 つから執行します。詳細について第 2 号議案で「北大生協 3 ケ年再生計画」を提案させていただきます。

全国大学生協連 学生総合共済事業をコープ共済連に事業譲渡し、大学生協共済連を開催し、学生総合共済出資会員にその残余財産が分配されることになりました。北大生協には（残余財産分配、出資金含む）

162,462,692 円（税引前）分配されました。分配された「残余財産の分配金」の用途について、本来であれば、学生、教職員の生活支援、大学コミュニティへの貢献、目的積立金、物的投資、人的投資などに活用したいところですが、多額の当期末処分損失金を抱えている経営状況であるため「残余財産の分配金」は当期末処分損失金の解消に活用することにさせていただきました。

## 2-2 事業計画の振り返り～2022 年度の重点事業領域

### (1) 「新学期」事業

(1) 過去 2 年で新学期アドバイザー・生協学生組織委員会・生協職員の連携を強めることを意識してきたので、更に連携を強化します。

新学期 PJ に学生委員会参加を位置づけました。新学期に関わる職員・学生委員会・学生アドバイザーが一堂に会し、大学生協としての新学期事業について学ぶ「23 新学期北大生協みんなで頑張ろう会」を開催し約 100 名の学

生が参加しました。(2/10) 2023 年度新学期の受験生、合格者の入学対応の連携を強めることができました。

(2) 多くの新入生と関わることを目指し、その後の店舗利用に繋がるように強めていきます。

MANAVI の後に MANAVI 生活編を行い北部食堂の使い方を伝え、その後のスムーズな利用につなげることができました。

(3) 公式 LINE アカウントなどの SNS ツールを活用し、多くの受験生に生協の情報発信をします。

昨年と同様の公式 LINE を立ち上げ情報発信を行いました。

(4) 各説明会は「いつ」「誰に」「どんなことを」伝えるかを意識して提案をします。

早期から情報を伝えるため、初めて年内から説明会を行いました。また、自宅生・自宅外生と階層別の説明会を行いました。自宅生への説明会の集客は 6 名とかなり少ない結果となりました。

(5) 現役先輩学生からの受験生・新入生への情報提供は、大学生協だからできる強みです。しっかりとアピールして活かしていきます。

学生委員会による、オープンキャンパスでの話そう企画、メルマガを行いました。日常生活、リスクに備えること、授業取得方法、勉強教材など現役学生の大学生活の実体験をリアルに説明することができました。

## (2) 「住まい」事業

(1) 受験生対応の早期化を進め、多くのお部屋見学提案から予約に繋げていきます。

受験生向け合格前準備ブックは、昨年より 1 か月早めて送付しました。加えて、10 月開始の住まい事前予約も予約可能物件を増やしました。予約件数は昨年より大きく増加することができました。

(2) 在校生の住替えでは、魅力的な物件を確保するとともに、早期化予約の提案で契約に繋げていきます。

新入生が住まいを決めたタイミングで、在校生への住替え予約の案内をスタートさせ、予約数を増やしました。

(3) 安心・安全・便利の北大生協管理マンションとして 24 時間かけつけサポートを進めます。

北大生協管理物件と木村工務店のマンション合わせて 1 6 0 0 室を対象に、夜間見守りパトロールを開始しました。

(4) 再開に向けて、宿舎管理部門と共済・組合員センターとの連携で留学生のサポートに取り組んでいきます。

留学生宿舎への入居が再開しました。秋入学の留学生へのサポートは携帯電話の紹介ブースに止まり、日本で生活スタートをサポートする取り組みはできませんでした。

(5) コープさっぽろの「トドック」サービスを管理マンション全棟で受注・個別配達を提案し、昼食の食堂とトドックを利用した自炊で健康的な食生活の応援を進めています。

「トドック」サービスの拡大イベントを管理マンション数棟で実施し、加入者を増やすことができていますが、全棟でのサービス受付拡大までには至っていません。

### (3) 「食」事業

#### ▶購買部門

(1) 商品力、販売力、接客力、商品管理力の店舗力向上、基本四原則「鮮度管理」「品揃え」「クリンリネス」「フレンドリーなサービス」を徹底していきます。(事業連合と連携した学習会に参加し実践を進めます。)

3月、9月に食品分類担当者へ基本四原則学習会を開催しました。クリンリネスの基準書を作成・店舗へ発信していますが徹底は進められませんでした。

(2) 大学生協食品の売れ筋Sランク・Aランク商品をしっかり展開していきます。

食品分類Aランク商品の送り込みを進め4月、10月での欠品を防止しました。文具分類Aランク商品は各店の導入状況の確認を行いました。

(3) 全店で、おすすめ商品(企画)を隔週で取組み、組合員が来店する楽しみを提供していきます。

今週のおすすめデザートを全店で展開を開始しました。

(4) 内製弁当・テイクアウト弁当を食堂・購買それぞれで活用します。食堂ではメニュー不足を補う1品、購買では温かい食事提供のための1品と位置づけ増産し利用拡大を図ります。

内製弁当を再開しましたが、人員不足のため満足な数量を提供できませんでした。

#### ▶食堂部門

(1) 「食」の機会を守ります。営業時間はBCPレベルにかかわらず、夜営業する店舗を定め営業を継続し、学内にいる組合員の「食」を守ります。

中央店、北部店で19時まで営業を再開しました。また、下期は中央店の営業時間を20時まで、工学部食堂は17時30分から19時30分まで延長営業を実施しました。

(2) QSCの向上を目指し、基本業態の徹底から組合員満足を高めていきます。

提供メニューの販売可能時間の見直し、営業時間に合わせた厨房内で使用するタオルの交換頻度の設定と実施、提供カウンターへのライス保温ジャーの全店実施により安全なメニュー提供を実施しました。

(3) 安心して食費の確保ができる、ミールプラン(旧名称ミールカード)の申込を推進します。

5月期での在校生へのDM発送、第2学期開始のミールプラン募集を実施し申込を増やすことが出来ました。

(4) 食堂部門では飽きの来ない食堂メニュー提供を行います。北大基本メニュー編成の確立、全店で企画メニュー提案、独自メニュー開発を進めます。

小規模店を対象にメニュー編成ルールを策定しました。うな井、メニューアプリのライス半額セール、75周年メガ盛り企画、寿司催事、不定期の農場フェア、愛媛県庁とのコラボでの愛媛フェア、SDGsデイに北大短角牛のステーキ、有機野菜を使用したオーガニックカレーの提供を実施しました。

(5) コップパンのブランド化、製造数量増を行い全店で価値ある商品として展開します。

コップパンの導入数は増加できました。農学部では独自セールも好評でした。ブランド化のためにはさらに認知度を上げる必要があります。

(6) 内製弁当・テイクアウト弁当を食堂・購買それぞれで活用します。食堂ではメニュー不足を補う 1 品、購買では温かい食事提供のための 1 品と位置づけ増産します。

北部店 1 階食堂、2 階購買店での内製弁当の提供を実施しました。また、下期からは夕方時間帯を対象にした北部店 2 階でのホットスナック「ほくほく」の提供を開始しました。

#### (4) 「学び」事業

##### ▶キャリア部門

引き続き、組合員の「正課授業以外の学び」をサポートしていきます。

(1) 自主運営試験の管理業務や大学生協オリジナルの公務員講座の運営をしています。これらを運営するにあたって必要なことは「正確性」です。たずさわる職員一人ひとりが「プロフェッショナル」になることを目指し、組合員によりよいものを提供していきます。

英語試験は各自 e ラーニングやオンライン学習会に参加し運営に活かしました。公務員講座は専任の担当者に加え、サポートスタッフを配置しさらにスタッフ増員をしました。

(2) 資格試験はオンライン化が加速しており、受験者が受験しやすい環境が促進されています。これらをアピールし学内で実施する試験を増やしていける取組みを強めていきます。

北大・国際交流課と TOEFL iBT の試験運営を続けていますが、留学希望者が増えないため TOEFL iBT の受験者数は伸び悩みました。

(3) オリジナル公務員講座は、大学のキャリアセンターと定期的に報告の場を設けるなど、引き続き良好な関係を維持していきます。各種イベントや面談などに積極的に組み込むことで学生との距離を縮め、ピーク時でも相談がしやすく取りこぼしのない、利用しやすい、安心できる講座を用意できるよう心がけます。

大学キャリアセンターの要請にお応えし同センター主催のガイダンスへオリジナル公務員講座の講師を派遣するなど、一定の協力関係を築くことができました。

(4) 新規講座の開設では、全国提案のパソコン講座の開設、新入生向けスタートアップ講座、新入生向け公務員講座の受講生増を目指しています。また、新たな取り組みとして、様々なスクールを集めて講座の説明会を行うようにします。

新入生向け公務員講座の申込が増加しました。また、2023 新学期はスタートアップ講座に北大オリジナル講座を追加（パターン B）します。それ以外は未着手です。

## ▶購買部門

(1) 高校の「情報」科目が共通テスト試験に組み込まれることが予定されています。大学の BYOD（パソコンの必携化）もあり、引き続き情報リテラシーを涵養できるパソコン講座の実施等を強化していきます。

情報企画課へ ICT アンケート結果の報告を行い、情報交換を進めることができました。新入生への大学推奨スペック案内に北大生協 PC の紹介分を掲載していただきました。

(2) 学内にパソコンの修理窓口があることは北大生協の大きな強みでもあり、新入生向けのパソコン販売については努力します。

予定台数を完売しましたが、シェア率は低迷しています。

(3) 自動車学校は、コロナ感染症拡大の影響で入校制限がなければ、年間 2～3 回程度のキャンペーンを実施して申込件数の回復を目指していきます。

自動車学校の協力も得られ、上期・下期ともに予定通りキャンペーンを開催することができました。2019 年度実績の 9 割程度まで申込みが戻ってきました。

## ▶書籍部門

(1) 組合員の声を反映させるため、最低 1 回は学生・教員による店舗クリニックを実施し、組合員との接点を増やして「参加できる」店舗を目指します。

北部店で学生委員会による店舗クリニックを行いました。院生委員会では「ほんでないかい」を今年も発行することができました。ポスター掲示、パーティションに広報物の掲示を行い、読書に興味を持ってもらえる取り組みを行いました。

(2) 企画宣伝の早期化、現在休止している配布物も復活させ、広範囲での情宣を実現できるようにします。教員が安心して授業に必要な教科書を生協に依頼できる取組みを強め、教科書は採用点数の増加を目指します。

バンドルセールのお知らせで例年よりも 2 週間ほど案内開始を早め、セール期間中の客数増につながりました。年末謝恩セールは 1 週間告知を早めましたが、客数はほぼ前年並みで終了しました。

(3) 教科書販売では、オンライン受注販売、時間指定での教科書のお渡し、配達などコロナ感染状況によって、「密」対策を検討し授業初日に間に合う提案を進めることで、新入生から上級生まですべての人が必要な教科書を生協から入手できることを目指します。

大学教務課と打ち合わせを行い、大学の BCP レベルに応じた対応を行っています。後期は動線を変更するなど「密」対策を講じながら開架式での販売を行いました。

## ▶「公費」対応（主に教職員組合員を対象にした供給活動）

(1) 公費利用の増進に向けて、購買外売店・書籍外売店を中心に認知度を上げ、利用拡大を図っていきます。

書籍外売店では昨年と同様、ご注文いただいた書籍を納品しながら研究室訪問を行いました。利用は減少していました。購買外売店では前進する取り組みは行えませんでした。既存のお客様との関係性を維持することに努めました。

(2) 新任教員への営業活動を行い、外売店を認知してもらい利用の機会を拡げていきます。

書籍外売店では学部図書や秘書の方から新任教員の情報をいただき、研究室を訪問し校費等の利用説明を行いました。その後は研究テーマを確認して新刊の商品提案をすすめることができました。購買外売店では研究室秘書や既存のお客様より情報を頂き、未訪問の研究室訪問を行うことができました。

(3) 学部店舗との連携を強め、専門知識が必要な案件について外売店と情報共有する運用を進めていきます。

水産購買店担当者とは、これまでできていなかった連携しながら対応を進めることが出来ました。

(4) 他大学生協で行っている「公費センター」の研究を行い、具体化を目指します。

この課題については着手することができませんでした。

## 2-3 組織活動の振り返り

対面授業が増えたことにより、学生委員会や院生委員会では久しぶりに対面での取り組みをすすめました。店舗を軸にした企画や、組合員同士の交流企画などを旺盛に進め、またオープンキャンパスや受験生歓迎などで直接先輩と交流できる企画を開催できました。また教職員委員会では引き続きオンラインにて月一回の総代会議を開催して、生協への意見交流を行ってきています。

また今年度は「利用者ミーティング」として、学生、院生、教職員が一堂に会して生協についての意見交流を行いました。学部毎を基本として4か所で開催し、ミーティングでの声を実現できた店舗もありました。

### 1) 学生組織委員会

2022年度(第76代)学生組織委員会方針は、「自分たちから、周りまで豊かに」でした。

以下具体的な活動について振り返りです。

10月の自転車点検会や12月のアルコールパッチテストなど、共済の普及・事故予防活動を対面で実施しました。学生総合共済の制度普及はもちろん、組合員の安心・安全な生活を目指した活動を行いました。

また、夏のアイス総選挙や組み合わせメニューの提案、七夕の笹を用いた組合員の要望を聞き取る活動、ジャストポッキーやクリスマス企画への協力など、生協店舗を盛り上げる活動を行いました。

さらに、受験生・新入生に向けた活動にも力を入れました。「受験生応援メルマガ」では配信頻度を増加させ、昨年の約2倍の200名以上の方にご愛読いただきました。オープンキャンパスに合わせたイベントや前期入試直前の「北大生と話そう」の3年ぶり対面実施、通年でのYouTubeやTwitter・Instagram等のSNSの活用など、受験生に寄り添いながら北大の魅力を発信し続けました。





一方、総代や学部上級生を対象とした企画はあまりできませんでした。また、書籍店舗での企画も進めることができていません。全体として、受験生向けの活動に力が入り既存組合員を対象とした活動が希薄になってしまった印象です。



## 2) 院生組織委員会

2022年度院生組織委員会方針は「院生一人一人に有意義な院生生活を送ってもらえるような活動の実施」でした。以下具体的な活動についての振り返りです。

### 1. 専門を超えた学生どうしが交流できる場を設ける。

2022年4月には新入院生歓迎会をオンラインで開催しました。20名以上の参加があり、新入院生どうしの交流で新たな知り合いをつったり、先輩から研究や進路に関する情報が紹介されたり、新生活に関する不安や疑問解消につながりました。7月と11月には、院生フェスタを開催し、院生が普段の生活の悩みを共有したり、交友関係を広げたりするための機会をつくりました。従来の総代会議に比べ、参加対象を大学院生全体に拡大したため、より広い分野の院生たちが気軽に集まり、盛り上がることができました。



### 2. 研究室生活が忙しい人や事情があってイベントに参加できない学生にも広くアプローチできる活動について検討し、実施する。

Twitterを毎週2～3回発信し、生協のイベントお知らせだけでなく、雑学や北大での話題、院生のごはん事情のつぶやきなどを提供してきました。

12月には、北大生おすすめの本の書評を集めた『ほんでないかい』を発行しました。冊子を配置するだけでなく、書評をピックアップしたポスターを各食堂に掲示したり、クラーク書籍にて『ほんでないかい』で紹介された本のコーナーを設置したりするなど、より多くの北大生に本に興味をもってもらえるよう工夫しました。

### 3. 総代会議などを通じて意見を集約し、学生が利用したくなるような生協店舗・イベントづくりにつなげる。学生に北大生協からの情報を知ってもらうことが出来るように、研究室やゼミなどの学生の生活スペースで有効な情宣手段を確立する。

総代会議は開催できていませんが、夏の院生交流会の場では生協への声を交流する時間を設けて、生協職員も入りながら意見を聞きました。研究室やゼミなどでの有効な情宣手段はTwitterの他は確立できていません。

新入院生向けには2月には、2023年度新たに北大の大学院へ進学する新入院生向けに『いんでないかい』を送付しました。大学院生活の様子や生協店舗の使い方、進路、授業、北大や札幌のイベント、季節の服装など、より充実した生活を送るのに有益な情報満載の冊子に仕上がりました。

## 3) 教職員組織委員会

2022年度教職員組織委員会方針は下記の通りでした。それぞれについての振り返りです。

### 1. 毎月開かれている「教職員総代会議」での意見交換で出された声を理事会に伝え、ひとつでも実現できるように尽力を尽くします。

総代会議は月一回を基本にして継続して開催してきました。また総代会議で出された意見は委員会で議論の上、実現に向けて理事会に報告しています。

## 2. 組織委員が少ないため委員会の拡大を進めます。

今年度は1名委員が加わりました。現在は委員4名とオブザーバー1名で委員会を行っています。引き続き委員獲得を進める必要があります。

## 3. 機関誌「きぼうの虹」が、2022年8月号で400号を迎えます。引き続き、末永く発行できるようにしていきます。

無事400号記念号を発行できました。過去にきぼうの虹の連載記事などをご執筆いただいた方々にコメントもいただきました。その後も予定通り定期発行を継続できています。

## 4. 「フォトコンテスト2022」を、6月から広報を開始して募集します

フォトコンテストを無事開催できました。ほぼ昨年並みの応募があり、きぼうの虹紙上で受賞発表も行ないました。大学や教員の方からは受賞作品の使用お願いも数件お問い合わせをいただいております。毎年の恒例企画として定着してきています。



## 4) 留学生組織委員会

かつては北大生協内に留学生が集まり交流・意見交換をするための委員会がありました。新型コロナ蔓延により留学生の帰国および新規留学の見合わせのため、現在は留学生組織委員会のメンバーの確保や活動の継続ができていません。

## 5) 環境課題推進委員会

環境課題推進委員会は生協の環境マネジメントの監査のほか、環境マネジメントに関する政策立案や提言を行う専門委員会として2008年に理事会委員会として設置されました。以降今年度まで継続して委員会を設置してきています。2022年度はオンラインと対面でのハイブリッド開催として委員会や打合せを進めてきています。

2022年2月より開始した食堂テイクアウト容器（リ・リパック）の回収を年度の活動重点として、各食堂でのポスター掲示による呼びかけと、容器の回収を行ってきました。回収数を増やすために、リ・リパックでの投票企画なども行っています。またレジ袋削減の取組も継続して進めており、レジ袋を使わないことがキャンパス内では当たり前になってきています。8月にはTVの取材も受け、委員メンバーでインタビューを受け答えしました。

大学のサステナビリティ推進機構とも連携し、年2回の大学の推進員会議に出席しています。またCAS-NetJAPAN（サステナブルキャンパス推進協議会）やASCN（アジア各国での取組に関する事例発表年次大会）といった他大学や海外との交流にも参加し、北大生協の取組の報告を行いました。





## 2-4 2022年度の業績

2022年度 客数累計 (単位:人)								
部門/年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	21/22差異	21/22比	19/22差異	19/22比
購買部門	1,527,238	445,164	385,772	<b>619,852</b>	234,080	160.68%	<b>-907,386</b>	<b>40.59%</b>
食堂部門	2,175,210	646,544	763,966	<b>1,130,719</b>	366,753	148.01%	<b>-1,044,491</b>	<b>51.98%</b>
書籍部門	74,515	45,454	47,182	<b>47,025</b>	-157	99.67%	<b>-27,490</b>	<b>63.11%</b>
サービス	7,721	3,648	3,884	<b>3,518</b>	<b>-366</b>	<b>90.58%</b>	<b>-4,203</b>	<b>45.56%</b>
合計	3,784,684	1,140,810	1,200,804	<b>1,801,114</b>	600,310	149.99%	<b>-1,983,570</b>	<b>47.59%</b>

2022年度 北大生協損益 (単位:千円)							
科目	前年実績	2022予算	2022実績	予算差異	予算比	前年差異	前年比
供給高	2,872,020	3,148,063	<b>2,989,513</b>	<b>-158,550</b>	<b>-5.0%</b>	117,493	4.1%
供給値引	21,992	32,437	<b>20,544</b>	<b>-11,893</b>	<b>-36.7%</b>	<b>-1,448</b>	<b>-6.6%</b>
供給剰余金	504,347	619,394	<b>580,396</b>	<b>-38,998</b>	<b>-3.5%</b>	76049	15.1%
GPR	17.6%	19.7%	<b>19.4%</b>	0.3%	98.7%	1.8%	1.8%
その他事業収入	306,962	304,329	<b>323,231</b>	4,927	6.2%	16269	5.3%
事業総剰余金	811,310	923,723	<b>903,628</b>	<b>-20,095</b>	<b>-2.2%</b>	92318	11.4%
人件費合計	492,488	512,429	<b>500,953</b>	<b>-11,476</b>	<b>-2.2%</b>	8465	1.7%
物件費合計	401,069	411,757	<b>431,561</b>	19,804	4.8%	30492	7.6%
事業経費合計	893558	924186	<b>932514</b>	8,328	0.9%	<b>-7,968</b>	4.4%
事業剰余金	<b>-82,248</b>	<b>-463</b>	<b>-28,886</b>	<b>-28,423</b>	6138.9%	53,362	64.8%
事業外収益	59,583	7,435	<b>41,352</b>	33,917	456.2%	-18231	<b>-30.6%</b>
事業外費用	15,679	692	<b>547</b>	<b>-144</b>	<b>-21.0%</b>	-15132	<b>-96.5%</b>
経常剰余金	<b>-38,343</b>	6,280	<b>11,917</b>	5,637	89.8%	50,260	131.1%
特別利益	200	0	<b>164,109</b>	164,109	0.0%	163,909	81954.8%
特別損失	10	0	<b>0</b>	0	0.0%	<b>-10</b>	<b>-99.8%</b>
税引前当期剰余金	<b>-38,154</b>	6,280	<b>176,027</b>	166,747	2702.9%	214,182	561.3%
法人税	722	0	<b>27,927</b>	27,927	0.0%	27,205	3768.0%
当期剰余金	<b>-38,876</b>	6,280	<b>148,100</b>	141,820	2258.2%	186,976	480.9%
当期首繰越剰余金	<b>-234,348</b>	0	<b>-273,058</b>	<b>-38,710</b>	16.5%	0	0.0%
当期末処分剰余金	<b>-273,225</b>	6,280	<b>-124,958</b>	148,266	54.2%	<b>-131,238</b>	<b>-2089.7%</b>

### 1) 経営概要

2022年度の経営に関しては、事業活動の回復が目標を大きく下回っていますが、事業外収入の計上で、経常剰余段階で黒字とすることができました。

昨年議決した通り、大学生協共済連が日本コープ共済連への事業譲渡に伴い解散をしたことにより、当生協への出資金の返還、残余財産の分配が実施されました。このことにより、累積債務を半減させることになりました。

なお、COOP 学生総合共済は、【学生どうしのたすけあいの制度】として、今後も組合員の健康と安全、暮らしを支えていき、当生協も結集をします。

### 2) 客数 2022年度は約180万人の方に来店していただきました。

2022年度の授業については、感染防止対策を前提としつつ、対面で実施することを基本となりました。対面授業が復活し2022年度の累計客数数は前年差異60万人増、前年比約150%伸長しているものの、コロナ前の2019年度との比較では48%程度の回復に留まりました。2022年度は土曜営業休業、営業時間短縮の継続、閉店店舗もあるため2019年度客数の7割程度まで回復させる計画をしておりましたが下回り終了しました。

### 3) 事業の状況 2022年度は29億8,950万円のご利用をいただきました。

新学期では、お部屋紹介を早期化することに伴い他部門も連動した提案ができるよう受験時から加入、教材、ミールの早期提案を進めました。パソコンは受験時に仮予約の早期化の効果もあり計画台数を完売しました。自動車免許は自動車学校の協力で年2回のキャンペーンが再開できたこともあり申込が2019年度実績の9割まで回復できている分類もありましたが全体的には利用厳しい傾向が続きました。購買外売店は情報機器、研究室改修などで上期の校費利用は好調に推移していましたが、下期は電気代燃料代の高騰で校費利用の抑制、次年度への繰越傾向にあるなど大学利用がとてつもない状況になりました。食品、菓子分類の利用が鈍いです。食堂部門は供給予算▲8.4%未達成でしたが前年客数を48%伸長、供給は前年実績を53.5%伸長しました。昼食利用の回復が高くなりました。しかし、客数は2019年度比の52%ほどの回復で2022年度目標の7割にはまだまだ厳しい状況が続きました。書籍部門は新学期教科書で単価の高い教科書の減少、語学英語教科書の採用減、譲り受け、日常の店舗利用回復が厳しい傾向、書籍外売店の校費利用減少と全体で予算比、前年比共に▲10%落としました。サービス部門は旅行商品でクラブサークルの遠征、教職員の出張の再開によって利用が増えました。キャリア店のオリジナル公務員講座も166件と過去最高の申込みになりました。前年4%伸長できた要因は、食堂部門、サービス部門の回復が大きかったことです。

#### 4) 数値概要

##### ①組合員数及び出資金

組合員数は25,233人で前年と比較して493人増加、出資金額は3億9,378万円で前年と比較して1,013万円増加しました。

##### ②供給事業

総供給高では29億8,950万円(予算差▲1億5,855万円、前年差+1億1,736万円)、供給剰余は5億8,039万円(予算差▲3,899万円、前年差+7,604万円)となりました。購買、食堂部門では2019年度客数実績の7割回復見通しの予算に対して利用客数が後退した影響が大きく、供給、供給剰余は未達成で終了しました。旅行事業のみコロナ禍明けを見越して、回復基調にあります。その一方で、大学校費・研究費の利用が後退をしています。

##### ③その他の事業収入

お部屋紹介の契約件数が増えたこと、満室対策費の収入、共済事業手数料増などで予算達成しました。

#### 4) 事業経費

人件費は、予算を▲1,147万円、予算比▲2.2%節約、前年差異+846万円、+1.7%増加で終了しました。予算を下回った要因は正規職員、フレンドリー職員の退職者が発生したこと、特にフレンドリー職員は退職者の後任採用が計画どおりに進まず欠員が続き予算を下回る状況になりました。前年との関係では営業時間の延長で投下労働時間が増える傾向にあるため前年実績を+2,040万円、+6.7%増えました。

物件費は、予算を+1,980万円、予算比4.8%増加、前年差異+3,049万円、+7.6%増加で終了しました。消耗品費では情報機器、サプライ関連の増加、施設維持管理では各店エアコン清掃、給水機など購入による増加、水道光熱費では電気代燃料費高騰による50%増加、研修採用費ではフレンドリー職員の募集掲載料の増加、通信交通費は対面会議、セミナーの出張費が増加しました。設備投資では、北部トラベルエアコン設置、電源工事、POSレジシステムの全面入替を行っています。電子マネーシステムの変更に伴い、アプリ等による認証を行っていただくための、広報宣伝費用を多く投入しています。

## 5) 事業外損益

雑収入で、2021年度新学期パソコン 2022年度新学期販売分の値上げ処理 1,600万円、出資金整理益 383万円、雇用調整助成金 415万円などがありました。全国大学生協連合会から経営支援を受けることを決めました。初年度の経営支援金 1,000万円を受けています。

## 6) 特別利益

大学生協共済連解散による残余財産分配金を1億6,246万円（特別利益配当源泉所得税 2,720万円は法人税等に計上）を計上して、実質1億3,526万円の損益改善となりました。

## 7) 当期剰余金

累積債務を抱えるため、法人事業所税 72万円のみを計上し、当期剰余金は1億4,810万円で終了しました。当期首繰越剰余金▲2億7,305万円から改善となり、当期末処分剰余金は▲1億2,495万円となります。

## 2-5 対処すべき重要な課題

### ●今後3年間で安定経営できる基盤づくりのための「3カ年再生計画」を策定しました。

2018年度の赤字を受けて、19年度に幹部職員でタスク会議を構成してまとめた「経営再構築タスク報告」を理事会に提出しました。その具体化を進める矢先に、コロナ禍となり大きな累積赤字となりました。2020年度には、「新型コロナウイルスの影響による経営危機下の経営再建策」を理事会で決定しました。更に、2021年度方針は、これらの経営再建策の具体化を進めてきました。

2022年度では、更に実効性のある「3カ年再生計画」を全ての構成員で議論して策定し、今総代会で決議いただくこととしました。すでに、22年度の回復が計画通り進んでいないことから、厳しいスタートとなりますが、組合員の利用回復につながるよう、事業分野での再生を図っています。総代会議やそのほかの組合員が意思決定に参加できる場の拡大を図っていきます。

## 2-6 財産及び損益の状況

### (1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

項目	単位：千円			
	2019年度	2020年度	2021年度	本年度
組合員数	26,152	25,636	24,740	25,233
出資金額	392,587	391,086	383,651	393,788
供給高	4,143,040	2,839,044	2,872,322	2,989,513
その他事業収入	358,493	348,725	306,963	323,231
経常剰余金	▲ 33,865	▲ 223,922	▲ 38,177	11,917
総資産	1,470,522	1,478,866	1,230,815	1,176,159
純資産	346,807	156,738	110,592	268,829

## (2) 供給事業の状況表

### 1) 部門別・業態別供給高の状況

単位:千円

項 目	2019年度	2020年度	2021年度	本年度
[部門別供給高]				
物品	2,191,950	1,944,054	1,916,840	1,831,668
書籍	418,518	414,304	395,657	354,781
食堂	979,363	285,132	340,515	522,668
旅行・キャリア	428,235	114,946	131,587	208,985
印刷情報	124,973	80,608	87,723	71,411
合 計	4,143,040	2,839,044	2,872,322	2,989,513
[業態別供給高]				
店舗	3,199,664	2,553,912	2,531,807	2,466,845
食堂	943,376	285,132	340,515	522,668
合 計	4,143,040	2,839,044	2,872,322	2,989,513

### 2) 供給高の事業所別内訳

単位:千円

項 目	2019年度	2020年度	2021年度	本年度
生協会館S	318,467	495,347	476,843	427,196
北部購買店	458,010	189,734	226,567	344,497
工学部購買店	126,150	57,126	52,913	72,905
中央購買店	53,562	11,227	休業	休業
コップパン店	25,645	1,033	休業	店舗販売休止
薬学部店	21,809	11,281	10,657	16,734
保健学科店	27,132	9,173	4,603	16,968
獣医学部店	16,749	6,525	4,553	6,331
学生寮店	7,427	2,610	閉店	-
歯学部店	14,150	5,302	2,500	7,063
水産店	30,846	24,738	25,256	30,029
購買外売店	877,210	1,124,330	1,107,303	899,763
文系ミニショップ	9,449	1,186	1,431	3,754
理学部ミニショップ	8,158	4,406	4,213	6,428
自販機店	2,810	36	-	-
北部書籍店	180,983	163,325	165,855	151,172
会館店クラーク	99,500	89,159	89,904	80,515
書籍外売店	138,034	161,821	139,899	123,094
キャリアサポート	99,305	77,765	86,524	76,722
会館店旅行	73,267	37,582	7,414	40,831
北部トラベル店	255,663	-401	37,649	91,431
印刷情報サービス部	124,973	80,607	87,723	71,412
北部食堂店	320,317	80,418	113,933	197,171
工学部食堂店	146,872	30,536	30,507	54,348
中央食堂店	208,286	56,550	79,516	117,163
クラーク食堂店	79,328	27,242	30,386	33,438
農学部店	42,698	22,524	24,042	31,711
医学部店	66,550	29,883	25,348	33,299
ポプラ店	63,594	31,933	32,628	46,078
水産食堂店	15,729	5,074	4,155	9,460
北部ケータリング	25,111	364	北部食堂に統合	-
エルムカフェ	10,877	608	閉店	-
合 計	3,948,661	2,839,044	2,872,322	2,989,513

### (3) 受託共済事業状況表

#### 1) 加入者数の状況

単位：人

共済事業の種類		元受団体名	加入者数（契約件数）		
			当年度	前年度	前年比
学生総合 共済	生命共済	コープ共済連	8,670	8,939	97.0%
	火災共済		186	1,595	11.7%
合 計			8,856	10,534	84.1%

※19年度より、火災共済は学生賠償保険特約に集約し、新規募集を停止しました。

#### 2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

単位：千円

共済事業の種類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
元受団体名		当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比
生命 共済	コープ共済連	123,636	126,000	98.1%	2,359	605	389.9%	197,052	56,083	351.4%
火災 共済		370	3,191	11.6%	5	22	22.7%	2,004	9,367	21.4%
合 計		124,006	129,191	96.0%	2,364	627	377.0%	199,056	65,450	304.1%

#### 3. 増資および資金の借入その他の資金調達状況

長期固定的なものはありません。

#### 4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

施設・設備名	所在地	摘要
北部店（トラベル）	札幌市北区北17条西8丁目	エアコン設置
中央店（食堂）	札幌市北区北11条西8丁目	ディスプレイ、ガスフライヤー
工学店（食堂）	札幌市北区北13条西8丁目	冷蔵庫、コールドテーブル
北部店（食堂）	札幌市北区北17条西8丁目	ディスプレイ
会館店（購買）	札幌市北区北8条西7丁目	アイス冷蔵庫

#### 5. 他の法人との業務上の提携

全国大学生協連の経営支援を申請し、支援金を受け取りました。

#### 6. 他の会社を子法人等および関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得

出資子法人及び関連法人等

単位:千円

法人名	資本金	当期出資額	累積出資額	出資比率	業務内容
(株) エルムプロジェクト	10,000	0	9,900	99.0%	大学グッズの企画制作等
キャンパスライフサポート(株)	3,000	0	2,000	66.7%	損保代理店業 他

7. 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受を受け、合併（存続組合）その他の組織の再編成ありません。

## 8. 教育事業等の状況

単位:千円

項目		金額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科目	内容	金額
教育文化費	書評誌ほんでないかい、フォトコンテスト、各種セミナー 機関紙「きぼうの虹、Letter」他	259
	その他組織委員会活動	2,647
	広報費	9,745
合計		12,651

## 9. 員外利用の状況

大学校費の利用 1 億 5,753 万円、その他、来訪者の店舗利用等があります。

## 【2】 組合の運営組織の状況に関する事項

### 1. 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日時	2022年5月27日 18:30～19:32	
総代会日現在総代数	197 名	
出席総代組合員数	本人	8 名
	代理人(委任)	0 名
	書面	132 名
	計	140 名
(重要な議事、議決事項および議決状況)		
第1号議案	2021年度事業報告・決算関係書類等承認の件	承認可決
第2号議案	2022年度事業計画及び予算承認の件	承認可決
第3号議案	役員報酬限度額決定の件	承認可決
第4号議案	日本コープ共済生活協同組合連合会への加入の件	承認可決
第5号議案	定款一部改正の件	承認可決
第6号議案	役員選挙規約一部改正の件	承認可決
第7号議案	議案決議効力発生の件	承認可決

(注) 総代選挙は、総代選挙規約にもとづいて行なわれ、260人の定数に対して197人が立候補し、選挙の結果、2022年4月30日当選人が公告されました。

(注) 役員選挙は、定数内の立候補のため、選挙を行わず、全員信任となりました。

## 2. 組合員に関する事項 組合員出資金等増減表

単位：円

区 分	人 数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金
期首現在	24,740	383,650	383,650,901	15,507
当期増加分	3,753	59,032	59,031,400	15,729
当期減少分	3,235	48,893	48,893,800	15,114
期末現在	25,234	393,789	393,788,501	15,605

法定脱退者についても含んでいます。増減には転籍（区分変更）を含みます。

## 3. 役員に関する事項

### (1) 役員一覧表

役 名	氏 名	略 歴 等
理事長(代表理事)	坂爪 浩史	21年～理事長
専務理事(代表理事)	小助川 誠	19年～専務理事
常務理事	鏡 秀隆	20年～理事
常務理事	林 忠一	21年～理事
常務理事	原 拓也	21年～理事
常務理事	井崎 貴皓	20年～理事
常務理事	小松 慎太郎	21年～理事
常務理事	田代 直也	22年～理事
理 事	金川 眞行	20年～理事
理 事	小篠 隆夫	20年～理事
理 事	伊藤 美香	21年～理事
理 事	今村 央	21年～理事
理 事	小川 美香子	22年～理事
理 事	コリ一 紀代	22年～理事
理 事	奥山 莉子	19年～理事
理 事	高木 暉馬	20年～理事
理 事	三澤 健成	20年～理事
理 事	石本 万象	22年～理事
理 事	野呂 香綸	22年～理事
理 事	逸見 京花	22年～理事
理 事	羽木 康祐	22年～理事
監事会議長	芳賀 永	21年～監事 (大学推薦)
監 事	岡野 泰樹	21年～監事
監 事	浦田 翔吾	22年～監事
監 事	黒川 昇悟	22年～監事
監 事	寺西 ほの花	22年～監事

### (2) 事業年度中に辞任した役員

原 拓也	23年3月で辞任
井崎 貴皓	23年3月で辞任
三澤 建成	22年9月で辞任





## 6. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

施設名	所在地	土地 (㎡)	建物(㎡)		摘要
			延床面積	店舗面積	
(1) 総務	札幌市北区北8条西7丁目				
(2) 店舗					
生協会館・MS棟	札幌市北区北8条西7丁目		4,074.5	1,328.5	
福利厚生会館(北部食堂)	札幌市北区北17条西8丁目		4,011.0	1,569.6	借用
工学部店	札幌市北区北13条西8丁目		962.0	485.3	借用
中央食堂(中央店)	札幌市北区北11条西8丁目		1,190.0	472.9	借用
クレーク会館	札幌市北区北8条西8丁目		737.0	615.1	借用
農学部店	札幌市北区北9条西9丁目		268.0	109.2	借用
医学部店	札幌市北区北15条西7丁目		321.0	156.2	借用
獣医学部店	札幌市北区北18条西9丁目		3.1	3.1	借用
歯学部店	札幌市北区北13条西6丁目		44.0	44.0	借用
薬学部店	札幌市北区北12条西6丁目		112.0	112.0	借用
保健学科店	札幌市北区北12条西5丁目		63.0	63.0	借用
ポプラ店	札幌市北区北21条西10丁目		423.0	188.4	借用
文系棟スモールショップ	札幌市北区北10条西7丁目		3.5	3.5	借用
理学部スモールショップ	札幌市北区北10条西8丁目		6.5	6.5	借用
水産厚生会館(水産店)	函館市港町3丁目		519.0	297.2	借用

\*エルムカフは、20年6月で閉店。学寮店は、21年3月に閉店。獣医学部店の店舗営業は21年5月で終了となり、自販機に置き換え。

## 7. 子法人等および関連法人等の状況に関する事項

### (1) 子法人等および関連法人等の概要

区分	子法人等	子法人等	
会社名	(株)エルムプロジェクト	キャンパスライフサポート(株)	
代表者名	小助川 誠	小助川 誠	
設立年月日	2006年4月28日	1969年12月17日	
事業内容	大学グッズの企画制作等	損害保険代理店業他	
設立の理由	北海道大学の広報活動を行う上で、大学・生協・他の民間企業等では担うことが難しい役割等をおこなうため。	全道大学生協組合員を対象に損害保険代理店業その他を通じ各種サービスを提供し、組合員の利便性を増す。	
資本金	資本金	1,000万円	300万円
	生協の出資額	990万円	200万円
株式(出資)の状況	発行済株式(出資)の総数	1,000口	60口
	生協の持株(出資)数	990口	40口
	生協の持株(出資)比率(%)	99%	66.7%
決算月日	3月31日	9月30日	
主たる事業所(事務所)の所在地	札幌市北区北8条西7丁目	札幌市北区北8条西7丁目	
株主(出資者)名	北大生協、(有)工作創庫	北大生協、大学生協事業連合	
当生協の関係役員(全て無給)	代表取締役社長 小助川 誠	代表取締役社長 小助川 誠	
	取締役 鏡 秀隆	取締役 鏡 秀隆	

## (2) 子法人等および関連法人等の決算概況

資産・負債・純資産の状況

単位:円

区 分	子法人等	子法人等
会社名	(株) エルムプロジェクト	キャンパスライフサポート (株)
科目\決算期	2022年3月31日	2022年9月30日
流動資産	15,635,361	11,472,070
固定資産	0	0
資産合計	15,635,361	11,472,070
流動負債	6,057,416	4,177,370
固定負債	0	0
負債合計	6,057,416	4,177,370
資本金	10,000,000	3,000,000
剰余金	▲ 422,055	4,294,700
評価・換算差額等	0	0
純資産合計	9,577,945	7,294,700
負債及び純資産合計	15,635,361	11,472,070

損益の状況

科目\決算期	自 2021年4月 1日		自 2021年10月 1日	
	至 2022年3月31日		至 2022年 9月30日	
売上高	18,893,170		28,858,449	
売上総利益	4,646,816		28,858,449	
営業利益	▲ 2,608,489		301,546	
経常利益	▲ 2,139,330		1,379,476	
当期純利益	▲ 2,209,330		1,309,476	
株主資本等変動計算書				
株主資本	前期末残高	11,787,275		5,985,224
	当期変動額	▲ 2,209,330		1,309,476
	当期末残高	9,577,945		7,294,700
評価・換算差額等	前期末残高	0		0
	当期変動額	0		0
	当期末残高	0		0
純資産合計	前期末残高	11,787,275		5,985,224
	当期変動額	▲ 2,209,330		1,309,476
	当期末残高	9,577,945		7,294,700

## 8. 事業連合の状況に関する事項

### (1) 事業連合の概要

連 合 会 名	生活協同組合連合会大学生協事業連合		
所 在 地	東京都杉並区和田3丁目30番22号		
代 表 者 氏 名	理事長 井内 善臣		
設 立 年 月 日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可		
事 業 内 容	<p>会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しないで、又は生産して会員に供給する事業</p> <p>(1)</p> <p>会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組合員に利用させる事業</p> <p>(2)</p> <p>会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事等の企画及び実施又はこれらに関連する情報を提供する事業</p> <p>(3)</p> <p>会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に関する知識の向上を図るために必要な教育を行い、及び情報を提供する事業</p> <p>(4)</p> <p>会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業に関する事業</p> <p>(5)</p> <p>会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業</p> <p>(6)</p> <p>会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業</p> <p>(7)</p> <p>会員の利用に供する計算、運搬に関する事業</p> <p>(8)</p> <p>会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業</p> <p>(9)</p> <p>前各号の事業に附帯する事業</p> <p>(10)</p>		
設 立 の 理 由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。		
出資金及び総口数	出資金	4,948,510 千円	総口数 494,851 口
生協の出資額及び口数	出資金	67,510 千円	総口数 6,751 口
決 算 月 日	2023年2月28日		
出 資 生 協	全国大学生生活協同組合連合会		800,000 千円
	早稲田大学生生活協同組合		209,810 千円
	東京大学消費生活協同組合		187,180 千円
	立命館生活協同組合		185,720 千円
	慶応義塾生活協同組合		156,560 千円
	その他 186 大学生生活協同組合		3,409,240 千円
当生協の関係役員	理事 小助川 誠		

(2) 事業連合の決算概況

(単位：千円)

資産・負債・純資産の状況		
法人名		生活協同組合連合会大学生協事業連合
科目\決算期		2023年2月28日現在(56期)
資産の部	流動資産	29,823,830
	固定資産	6,705,855
	資産合計	36,530,686
負債の部	流動負債	32,066,274
	固定負債	2,443,752
	負債合計	34,510,027
純資産の部	出資金	4,948,510
	剰余金	△2,927,851
	評価・換算差額等	-
	純資産合計	2,020,658
負債及び純資産合計		36,530,686

(注) 上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(3) 事業連合の損益状況

(決算期 2023年2月28日)

(単位：千円)

損益の状況	
科目 \ 決算期間	2022年3月1日~2023年2月28日
供給高	88,511,386
供給剰余金	442,828
事業剰余金	△231,762
経常剰余金	△125,323
当期剰余金	△959,155
当期末処分剰余金	△2,927,851

(注) 上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(4) 事業連合との取引等の状況

取引の内容	物販及びサービス商品等の仕入れ	
取引高	2,232,970,651	円
総仕入高対比取引率(%)	93.9	%

## 9. その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項

2013 年度第 4 回理事会において、組合員と大学の負託に応え、「北大生協の使命とビジョン」を達成するために必要な内部統制の整備に関する基本方針（以下「基本方針」）を次のとおり定めました。

- 1 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
- 2 理事・委員及び職員の職務執行に関わる情報の保存及び管理を適正に行います
- 3 損失の危険の管理を行います
- 4 財務報告を適正に作成します
- 5 理事・委員及び職員の職務の執行が、効率的に行われるようにします
- 6 子会社等における業務の適性を確保します
- 7 監事監査がいっそう有効に行われるための環境を整備します

これを受けて専務理事が 2019 年 6 月の理事会において「2019 年度の内部統制課題」を定め、課題や実施状況等を理事会に報告し、これを理事が監督しています。「2019 年度の内部統制課題」の細目では 2019 年度中に実施できなかったものもありましたが、基本方針に沿って実施されました。

2022 年度は、この方針に沿って、検証を行っています。

### 【3】その他組合の状況に関する重要な事項

理事会のもとに検討委員会を設けて、【3ヶ年再生計画】の答申を受けました。理事会で検討を行い、今総代会で議決をいただきます。

また、この再生計画の提出をもって、全国大学生協連より、経営支援を受けています。

## II 2022年度事業報告書の附属明細書

2022年3月1日から2023年2月28日まで

作成 2023年3月29日

北海道札幌市北区北八条西7丁目1-1

備付 2023年4月22日

北海道大学生協同組合

理事長 坂爪 浩史

### 1. 役員報酬等の状況

#### (1) 役員報酬明細

区分	定款上の定員(人)	支払人員(人)	報酬等支払額	摘要
理事	16~25人	22人	8,260	総代会の決定に基づく理事報酬の限度額は16,000千円、監事報酬の限度額は60万円です。
監事	3~5人	5人	324	
合計	19~30人	25人	8,584	

\*理事の中で報酬を辞退する者があり、支払い人員と実際の役員数とは必ずしも合致していません。

#### (2) 役員退職金明細

該当する項目はありません。

### 2. 役員と他の法人等(関連会社および事業連合)の業務執行者兼務状況

区分	常勤・非常勤	代表権の有無	氏名	兼職先名	兼務先での役職名	兼務先での代表権の有無
理事	非常勤	無	坂爪 浩史	該当ありません	-	-
理事	常勤	有	小助川 誠	大学生協事業連合	理事	無
理事	常勤	有	小助川 誠	全国大学生協連合会	理事	無
理事	常勤	有	小助川 誠	大学生協事業連合北海道地区	運営委員長	無
理事	常勤	有	小助川 誠	キャンパスライフサポート(株)	社長	有
理事	常勤	有	小助川 誠	(株)エルムプロジェクト	社長	有
理事	常勤	有	小助川 誠	(株)コープ総合サービス	取締役	無
監事	非常勤	無	芳賀 永	全国大学生協連合会	理事	無

### 3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

ありません。

#### 4. 事業連合に関する事項

##### (1) 債権明細書

(単位：円)

内 訳	短 期 債 権		
	期首残高	期末残高	当期増減額
事業連合前渡金	0	0	0
事業連合未収金	20,323,544	21,636,830	1,313,286
合 計	20,323,544	21,636,830	1,313,286

##### (2) 債務明細書

(単位：円)

内 訳	短 期 債 務		
	期首残高	期末残高	当期増減額
買掛金(事業連合)	256,977,179	185,600,032	▲71,377,147
事業連合未払金	20,386,831	16,631,824	▲3,755,007
合 計	277,364,010	202,231,856	▲75,132,154

### Ⅲ 2022年度決算関係書類

作成 2023年3月28日

備付 2023年4月22日

札幌市北区北8条西7丁目1-1

北海道大学生生活協同組合

理事長 坂爪 浩史

#### (1) 貸借対照表

#### 貸 借 対 照 表

(2023年2月28日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
流 動 資 産	531,374,916	流 動 負 債	633,057,402
現 金 預 金	161,921,192	買 掛 金	202,305,481
供 給 債 権	174,731,189	短 期 借 入 金	0
商 品 及 び 原 材 料	163,652,554	未 払 金	20,836,383
貯 蔵 品	32,313	未 払 法 人 税 等	722,000
立 替 金	211,068	未 払 消 費 税 等	18,889,026
前 払 費 用	2,221,445	未 払 費 用	76,519,968
未 収 金	30,605,155	前 受 金	164,930,341
短 期 貸 倒 引 当 金	▲ 2,000,000	預 り 金	143,666,959
		賞 与 引 当 金	4,624,000
		ポ イ ン ト 引 当 金	133,244
		仮 受 出 資 金	430,000
固 定 資 産	644,784,839	固 定 負 債	274,272,536
有 形 固 定 資 産	504,640,605	長 期 借 入 金	80,000,000
建 物 及 び 付 属 設 備	740,295,002	退 職 給 付 引 当 金	169,602,536
建 物 及 付 属 設 備 減 価 償 却 累 計 額	▲ 323,885,610	預 り 保 証 金	2,000,000
	416,409,392	マ ン シ ョ ン 修 繕 引 当 金	22,670,000
器 具 備 品	389,424,765	負 債 合 計	907,329,938
器 具 備 品 減 価 償 却 累 計 額	▲ 360,676,534		
	28,748,231	( 純 資 産 の 部 )	
土 地	59,482,982	組 合 員 資 本	268,829,817
	0	出 資 金	393,788,501
無 形 固 定 資 産	2,153,234	損 失 金	124,958,684
ソ フ ト ウ ェ ア	2,153,234	法 定 準 備 金	0
そ の 他 無 形 固 定 資 産	0	施 設 整 備 積 立 金	0
そ の 他 の 固 定 資 産	137,991,000	当 期 未 処 理 損 失 金	124,958,684
関 係 団 体 出 資 金	103,261,000	( うち 当 期 剰 余 金 )	148,100,144
子 会 社 等 株 式	11,900,000		
長 期 貸 付 金	640,000	純 資 産 合 計	268,829,817
差 入 保 証 金	22,190,000		
そ の 他 固 定 資 産	0	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,176,159,755
長 期 貸 倒 引 当 金	0		
資 産 合 計	1,176,159,755		



## (2) 損益計算書

損 益 計 算 書  
自2022年3月1日 至2023年2月28日

単位:円

科 目	額	
供 給 事 業		
供 給 高	2,989,513,356	
供 給 値 引	<u>20,544,895</u>	2,968,968,461
供 給 原 価		
期首商品棚卸高	175,412,267	
仕 入 高	<u>2,376,812,677</u>	
合 計	2,552,224,944	
期末商品棚卸高	<u>163,652,554</u>	2,388,572,390
供給剰余金		<u>580,396,071</u>
その他の事業収入		
共済受託手数料収入	20,908,846	
供給事業手数料収入	14,499,880	
不動産賃貸収入	112,280,970	
その他手数料収入	<u>175,542,273</u>	
その他事業収入計		323,231,969
事業総剰余金		<u>903,628,040</u>
事業経費		
人 件 費	500,953,567	
物 件 費	<u>431,561,226</u>	932,514,793
事業損失金		<u>28,886,753</u>
事業外収益		
受 取 利 息	527	
受 取 配 当 金	433,600	
雑 収 入	<u>40,918,165</u>	41,352,292
事業外費用		
支 払 利 息	36,235	
雑 損 失	<u>511,520</u>	547,755
経常剰余金		<u>11,917,784</u>
特別利益		
補 助 金 収 入	1,500,000	
共 済 連 清 算 益	162,462,692	
その他特別利益	<u>147,000</u>	164,109,692
特別損失		
固定資産除却損	<u>16</u>	16
税引前当期剰余金		176,027,460
法 人 税 等		27,927,316
過年度法人税等		<u>0</u>
当期剰余金		148,100,144
当期首繰越損失金		273,058,828
積立金取崩額		<u>0</u>
当期未処理損失金		<u>124,958,684</u>

### (3) 注記

#### 1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当事項はありません。
- ② 棚卸資産の評価基準および評価方法  
書籍・購買・旅行（商品） 売価還元法による原価法  
食堂（食材） 最終仕入原価法による原価法  
印刷情報（資材） 最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

- ① 有形固定資産 定率法  
(リース資産を除く) ただし、1998年3月31日以前に取得した建物は定率法、それ以降の取得については定額法  
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。  
建物 20年～47年  
建物附属設備 3年～20年  
器具備品 4年～15年
- ② 無形固定資産 定額法  
なお、ソフトウェアは利用期間（5年）にもとづく定額法
- ③ リース資産 ありません。
- ④ その他の固定資産 定額法  
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。  
大学寄贈施設等 5年～13年  
パソコン 3年

(3) 引当金の計上基準は以下のとおりです。

- ① 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額及び貸倒懸念債権について回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しています。
- ② ポイント引当金 供給促進をはかるために生協電子マネーシステムにて付与したポイントの期末における未使用残高を計上しています。
- ③ 賞与引当金 職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額の当期相当額を計上しています。
- ④ 退職給付引当金 退職給付会計に関する注記に記載しています。

(4) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

- ① 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

#### 2. 会計方針の変更

電子マネー関連のシステム変更に伴い、電子マネーに関するポイントの計上科目を供給値引に変更し、期末未使用分の引当をしています。また、ミールプランの利用に関する経過科目を変更しています。

#### 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務は以下のとおりです。

該当事項はありません。

(2) 役員に対する金銭債権または金銭債務

該当事項はありません。

(3) 課税売上にかかる仮受消費税額は、316,189,659円です。

#### 4. 損益計算書に関する注記

(1) 事業外損益の内訳は以下のとおりです。

- ① 雑収入のうち、3,831,000円は出資金整理益、163,700円は生協への寄付金です。
- ② 雑収入のうち、15,054,429円は21新学学期PC処分戻しです。
- ③ 雑収入のうち、4,146,820円は雇用調整助成金、148,500円は職業安定助成金です。
- ④ 雑収入のうち、10,000,000円は大学生協連経営支援金、107,211円は法人税還付金です。
- ⑤ 雑損失のうち、401,600円は出資金整理後返還による損失です。

- (2) 特別損益の内訳は以下のとおりです。
- ① 補助金収入は、1,50,000円が事業復活支援金です。
  - ② 共済連清算益 162,462,692円は、当生協が加入していた大学生協共済連の清算に伴い、残余財産の分配を受けたものであります。
- (3) 計上科目の変更は以下の通りです。  
該当事項はありません。
- (4) 法人税等には、法人税、住民税および事業税が含まれています。  
また、今年度は共済連清算益に関する源泉税を含みます。
- (5) 当期首繰越損失金には、剰余金処分により繰越する消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金は含まれていません。

## 5. 剰余金に関する注記

- (1) 法定準備金は、消費生活協同組合法第51条の4第1項の規定にもとづく積立金です。
- (2) 積立金について  
施設整備積立金は、施設整備のため自己投資・大学への寄付等として活用することを目的とし、1億円を目標に積み立てを16年度より開始しました。20年度損失処理で取り崩しました。
- (3) 次期繰越損失金には、消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金は含まれていません。

## 6. 退職給付会計に関する注記

- (1) 退職給付債務の計上基準  
職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用）を退職給付引当金として計上しています。また、会計基準変更時差異の費用処理方法は、その発生年度の職員の平均残存勤務期間内の一定の年数（14年）による定額法により、費用処理することとしていましたが、前年度で処理が完了しました。
- (2) 採用する退職給付制度  
職員の退職により支給する退職給付にあてるため、退職一時金制度を採用しています。
- (3) 職員の退職一時金制度の退職給付債務等の内容
- ①退職給付債務およびその内訳

退職給付債務	169,602,536 円
会計基準変更時差異の未処理額	0 円
  - ②退職給付費用の内訳

当期発生費用処理額	7,988,040 円
-----------	-------------
  - ③会計基準変更時差異の処理年数  
14年間で定額法により処理しています。一昨年度で処理を完了しました。
  - ④退職給付引当金の退職債務に対する引当率は、100%となります。
- (4) 企業年金基金制度について  
このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主により設立された企業年金である総合設立型基金のため退職給付債務は計上していません。  
なお、要拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度に関する事項は以下のとおりです。
- ①第1制度全体の積立状況に関する事項

年金時価資産額	45,046,442,003 円	(2023年2月28日)
年金財政計算上の給付債務の額	35,065,426,000 円	(2022年3月31日)
差引額	9,981,016,003 円	
  - ②第1制度全体に占める当生協の掛金割合（2023年2月分）  
0.117%
  - ③補足説明  
22年3月末の繰越剰余金は10,633,241,390円で、過去勤務債務残高はありません。

④第2制度全体の積立状況に関する事項（2023年2月28日）

年金時価資産額	56,422,620,865 円
年金財政計算上の給付債務の額	49,470,800,546 円
差引額	6,951,820,319 円

⑤第2制度全体に占める当生協の個人勘定残高（2023年2月分）

当生協の個人勘定残高	17,441,556 円
当生協の事業所持分額	19,894,616 円

差額は運用益に相当し、退職給付引当金から控除して、退職給付費用の戻しをしています。

7. 税効果会計に関する注記

短期の繰延税金資産については、対象金額の重要性に鑑み、また、長期の繰延税金資産については、将来の経営環境と大学生協の性格に鑑み、計上しないこととしています。

8. リースにより使用する固定資産に関する注記

(1) オペレーティング・リースにより使用する固定資産

該当事項はありません。

(2) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、および期末残高相当額

単位：円

資産の種類	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
車輛運搬具	38,563,490	27,672,290	10,891,200
器具備品	36,372,949	36,372,949	0
合計	74,936,439	64,045,239	10,891,200

②未経過リース料期末残高相当額

1年以内	5,445,600 円
1年超	5,445,600 円
合計	10,891,200 円

③支払リース料および減価償却費相当額

支払リース料	9,780,310 円
減価償却費相当額	9,780,310 円

④減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっています。

9. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 会社等

単位：千円

種類	法人等の名称	資本金又は出資金	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	株エルムプロジェクト	9,900	直接99.0%	役員兼任2名	経費立替	4,735	立替金	208
子会社	キャンパスライフサポート(株)	2,000	直接66.7%	役員兼任2名	業務委託・経費立替	26,701	立替金	0

(2) 組合

単位：千円

種類	法人等の名称	資本金又は出資金	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協事業連合	67,510	直接0.52%	仕入先役員兼任1名	商品仕入	2,232,971	買掛金	185,600
					業務委託	634,643	未収金	5,005

(取引条件および取引条件の決定方針等)

商品の仕入については、市場の実勢価格を勘案して価格を決定しています。なお、上記金額のうち、取引金額については消費税等が含まれていませんが、期末残高には含まれています。

(3) 役員およびその近親者

該当事項はありません。

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

11. その他の注記

22年度、大学生協共済連の解散・営業譲渡が行われ、残余財産の分配が行われました。コロナによる給付が増大し、処分額が大きく減少することとなりました。

## IV 2022年度損失処理案

作成 2023年3月28日  
備付 2023年4月22日

札幌市北区北8条西7丁目1-1  
北海道大学生生活協同組合  
理事長 坂爪 浩史

単位:円

項 目	金 額
I 当期末処理損失金	124,958,684
II 損失金処理額	
1. 法定準備金	0
2. 任意積立金	
(1) 施設整備積立金	0
	0
III 次期繰越損失金	124,958,684

施設整備積立金は、計画している施設整備のために、自己投資・大学への寄付等として活用することを目的とし、16年度から開始しました。目標額は1億円です。21年度の損失金処理で取り崩しました。

### 教育事業等繰越金

上記の次期繰越損失金には、  
消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金が含まれていません。

## V 2022年度決算関係書類の附属明細書

作成 2023年3月28日  
備付 2023年4月22日

札幌市北区北8条西7丁目1-1  
北海道大学生協同組合  
理事長 坂爪 浩史

### 1. 組合員資本の明細

単位:円

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
組 合 員 出 資 金	383,650,901	59,031,400	48,893,800	393,788,501	
法 定 準 備 金	0	0	0	0	
施 設 整 備 積 立 金	0	0	0	0	
当 期 未 処 理 損 失 金	273,058,828	0	148,100,144	124,958,684	(注1)
合 計	110,592,073	207,131,544	48,893,800	268,829,817	

(注1)減少は前年度損失処理によるもの。

### 2. 借入金の明細

#### (1) 長期借入金等の増減

借 入 先	期首残高	当期増減額	期末残高
北洋銀行北七条支店(信用保証)	80,000,000	0	80,000,000
合 計	80,000,000	0	80,000,000

#### (2) 短期借入金等の増減

単位:円

借 入 先	期首残高	当期増減額	期末残高
大学生協事業連合	150,000,000	▲ 150,000,000	0
合 計	150,000,000	▲ 150,000,000	0

### 3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

単位:円

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿 価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末帳 簿価額	減損損失 累計額	減価償却 累計額	期末取 得原価
有形 固定 資産	建物及び附属設備	445,144,538			28,735,146	416,409,392		323,885,610	740,295,002
	器 具 備 品	16,998,995	20,231,940	16	8,482,688	28,748,231		360,676,534	389,424,765
	土 地	59,482,982				59,482,982			
	小 計	521,626,515	20,231,940	16	37,217,834	504,640,605	0	684,562,144	1,129,719,767
無形 固定 資産	ソフトウェア	3,662,434			1,509,200	2,153,234			
	その他無形固定資産	0				0			
	小 計	3,662,434	0	0	1,509,200	2,153,234	0		
合 計	計	525,288,949	20,231,940	16	38,727,034	506,793,839	0		

※有形固定資産の増加は、以下の通りです。

ユビレジ周辺機器13,786千円、ICチャージ機2台1,420千円、 北部:エアコン設置2,600千円、会館店:棚スペース設置232千円  
以下、入替 会館店:アイス冷凍庫203千円、工学部食堂:冷蔵庫・コールドテーブル669千円  
中央食堂:ディスプレイ・ガスフライヤー735千円、 北部食堂:ディスプレイ587千円 です。

※減少は入替除却による除却損です。

### 4. 関係団体等出資金の明細

単位:円

出 資 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考	
関 係 団 体 出 資 金	全国大学生協連合会	24,351,000			24,351,000	
	大学生協事業連合	67,510,000			67,510,000	
	北海道労働金庫	10,840,000			10,840,000	
	賀川記念教育基金	440,000			440,000	
	北海道生協連合会	10,000			10,000	
	北海道書店組合	10,000			10,000	
	大学生協共済連合会	7,600,000		7,600,000	0	解散清算
	日生協コープ共済連合会	0	100,000		100,000	
小 計	110,761,000	100,000	7,600,000	103,261,000		
子会社等 株式	㈱エルムプロジェクト	9,900,000			9,900,000	
	キャンパスライフサポート㈱	2,000,000			2,000,000	
	小 計	11,900,000	0	0	11,900,000	
合 計	122,661,000	100,000	7,600,000	115,161,000		

## 5. 引当金の明細

単位:円

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
短期貸倒引当金	2,020,000	2,000,000	2,020,000	2,000,000	洗い替え
賞与引当金	3,006,000	21,264,000	19,646,000	4,624,000	
退職給付引当金	203,748,536	12,480,000	46,626,000	169,602,536	目的使用
ポイント引当金	0	133,244	0	133,244	
合 計	208,774,536	35,877,244	68,292,000	176,359,780	

※退職金4名37,623千円支給

## 6. 事業経費の明細

単位:円

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	8,584,000
職員給与	96,154,826
定時職員給与	321,203,635
退職給付費用	7,988,040
法定福利費	40,428,068
厚生費	5,193,523
賞与引当金繰入	21,264,000
派遣人件費	137,475
人件費合計	500,953,567
2. 物件費	
教育文化費	2,906,856
広報費	43,392,434
消耗品費	30,145,709
物流費	1,218,428
車輜運搬費	30,061,438
貸倒引当金繰入額	▲ 20,000
ポイント引当金繰入額	133,244
施設維持管理費	29,617,674
減価償却費	38,880,408
賃借料	8,370,559
水道光熱費	49,425,668
保険料	1,715,803
委託料	97,550,370
研修採用費	4,443,294
調査研究費	785,978
会議費	959,343
諸会費	9,804,538
渉外費	0
租税公課	8,578,396
通信交通費	11,589,523
雑費	85,563
事業連合委託費	61,916,000
物件費合計	431,561,226
事業経費合計	932,514,793

## 7. 事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細

事業は供給・利用事業のみのため事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細は、損益計算書および事業経費の明細と同じです。

## 8. キャッシュ・フロー計算書

2022 年度

単位:千円

内 訳	金額
事業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期利益	176,027
減価償却費(有形固定資産)	37,217
減価償却費(無形固定資産・その他固定資産)	1,663
貸倒引当金の増減額	▲ 20
賞与引当金の増減額	1,618
退職給付引当金の増減額	▲ 34,146
役員退職引当金の増減額	0
受取利息及び受取配当金	▲ 434
支払利息	36
有形固定資産除却損	0
開発費償却額の増減額	0
供給債権の増減額	62,160
棚卸資産の増減額	11,889
仕入債務額の増減額	▲ 58,064
未払金の増減額	6,021
前受金・預り金等の増減額	15,456
その他流動資産の増減額	1,778
その他流動負債の増減額	3,221
その他固定負債の増減額	3,000
小計	227,422
利息及び配当金の受取額	434
利息の支払額	▲ 36
法人税等の支払額	▲ 27,927
(1)	199,893
投資からのキャッシュ・フロー	
長期預金預入による支出	▲ 1,000
長期預金払戻による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出額	▲ 20,231
無形固定資産の取得による支出額	0
関係団体出資金等の出資支出額	6,860
貸付による支出	0
貸付金の回収による収入	0
(2)	▲ 13,371
財務からのキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	▲ 150,000
長期借入金の増減額	0
出資金の増減額	10,138
任意積立金の増減額	0
(3)	▲ 139,862
現金及び現金同等物の増加額	46,660
現金及び現金同等物の期首残高	114,261
現金及び現金同等物の期末残高	160,921

(注) 現金及び現金同等物の範囲

単位:千円

項 目	期 首	期 末
現金及び預金	115,261	161,921
預入期間が3か月を超える定期預金	▲ 1,000	▲ 1,000
現金及び現金同等物	114,261	160,921



9. 主要な事業に係る資産及び負債の内容その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主要な資産の内容

① 現金預金の明細

単位:円

科目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額	
現金預金	現金	現金	4,812,105	5,315,661	503,556
		札幌出納	6,318,356	6,083,205	▲ 235,151
		水産出納	74,162	201,830	127,668
		小口現金	4,912,900	5,783,700	870,800
	店舗等における 釣銭等	会館店1F	345,000	345,000	0
		購買部北部店	440,000	450,000	10,000
		購買部工学部店	210,000	210,000	0
		購買部中央店	155,000	0	▲ 155,000
		購買部薬学部店	30,000	50,000	20,000
		購買部保健学科店	40,000	50,000	10,000
		購買部獣医学部店	16,500	16,500	0
		購買部学生寮店	0	0	0
		購買部歯学部店	50,000	50,000	0
		購買部文系ショップ	70,000	70,000	0
		購買部理学部ショップ	40,000	55,000	15,000
		購買部ミュージアムショップ	0	0	0
		購買部エルムの森ショップ	0	0	0
		購買部外売店	30,000	30,000	0
		購買部水産店	100,000	100,000	0
		書籍部北部店	140,000	120,000	▲ 20,000
		書籍部クラーク店	120,000	120,000	0
		書籍部外売店	50,000	50,000	0
		キャリサポート店	50,000	50,000	0
		北部トラベルセンター	70,000	70,000	0
		印刷情報サービス	175,500	155,500	▲ 20,000
		ルームガイド/マンション管理	340,000	340,000	0
		食堂部北部店	440,000	490,000	50,000
		食堂部工学部店	83,700	210,000	126,300
		食堂部中央店	38,300	439,150	400,850
		食堂部クラーク店	60,000	135,000	75,000
		農学部食堂	100,000	144,650	44,650
		医学部食堂	60,000	239,300	179,300
		レストランボプラ	63,300	198,000	134,700
		食堂部水産店	115,600	115,600	0
		理事会室小口出資	100,000	100,000	0
		学研災返済用小口	280,000	280,000	0
		総務部金庫両替	500,000	500,000	0
		総務部水産支部	600,000	600,000	0
		当座預金	ゆうちょ銀行口座	2,557,471	14,567,711
	普通預金	北洋銀行北七条支店	82,972,157	114,761,554	31,789,397
		北海道銀行札幌駅北口支店	10,081,909	9,891,402	▲ 190,507
		北海道銀行函館支店	627,765	1,110,085	482,320
		北海道労金札幌北支店	1,904,235	3,206,044	1,301,809
定期預金	北洋銀行北七条支店	1,000,000	1,000,000	0	
合 計		115,261,060	161,921,192	46,660,132	

② 供給債権の明細

イ. 内 訳

単位:円

内 訳	金 額
組合員(私費等)	5,195,446
組合員(研究費、団体)	150,828,773
一般カード未収金	18,706,970
合 計	174,731,189

ロ. 回収状況

単位:円

期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回 収 率
236,891,010	2,172,678,327	2,234,838,148	174,731,189	93%

③ 有価証券の明細

該当するものではありません。

## ④ 商品および貯蔵品の明細

単位:円

内 訳		金 額
商 品	文具・サプライ	10,314,832
	情報機器	16,463,620
	PCソフト	817,754
	衣料・スポーツ関連	3,343,915
	AV家電家具	637,892
	日用雑貨	1,401,742
	飲料・食料品全般	7,236,647
	コピー・写真・印刷	880,088
	官製品	1,382,945
	カップパン原材料	51,376
	旅行関連品	1,571,139
	書籍関連品	111,531,289
	自主講座	198,091
	食堂原材料	3,872,645
	その他物販	3,948,579
小 計	163,652,554	
貯蔵品	書籍外壳納品伝票	32,313
小 計	32,313	
合 計	163,684,867	

## ⑤ 短期貸付金の明細

該当するものではありません。

## ⑥ 立替金の明細

単位:円

内 訳		金 額
(株)エルムプロジェクト	キャリア事業者立替分	1,200
	小 計	209,878
共済解約返戻立替金		1,190
小 計	1,190	
合 計	211,068	

## ⑦ 未収金の明細

単位:円

内 訳		金 額
大学生協事業連合		21,636,830
北海道大学 (留学生宿舎・入構証・文献複写)		2,758,789
アペックス (自販機)		2,992,257
コカ・コーラ (自販機)		0
日本出版販売(株) (図書カード・図書券)		165,059
保険料		79,620
ルームガイド広告収入		550,000
加入Web ソニペ		1,422,600
生活応援チャージ		1,000,000
合 計	30,605,155	

## ⑧ その他の流動資産の明細

単位:円

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
前 渡 金	ありません	0	0	0
	小 計	0	0	0
前払費用	北海道労働局 (労働保険料)	570,279	505,841	▲ 64,438
	動産総合保険料・自動車保険料	875,769	938,804	63,035
	北大) 備品賃借料・施設使用料	144,300	144,300	0
	総合警備保障 (警備輸送料)	550,000	550,000	0
	書籍在庫管理保守料	82,500	82,500	0
	小 計	2,222,848	2,221,445	▲ 1,403
合 計	2,222,848	2,221,445	▲ 1,403	

## ⑨ その他の出資金の明細

該当するものではありません。

## ⑩ 長期貸付金の明細

内 訳	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
職員貸付	0	700,000	60,000	640,000
合 計	0	700,000	60,000	640,000

## ⑪ 差入保証金の明細

単位:円

内 訳	期末残高
総合警備㈱ (店舗両替金預託)	15,000,000
全国大学生協連 (旅行保証金)	3,000,000
全国旅行業協会	2,800,000
不動産協会	600,000
JTB (旅ネット端末保証金)	500,000
全旅協クーポン会	200,000
日本図書普及㈱図書券販売加入金	60,000
日本図書普及㈱図書カード端末保証金	30,000
合 計	22,190,000

## ⑫ その他固定資産の明細

単位:円

内 訳	期首残高	期末増加	当期減少	期末残高
一括償却資産 (20年度)	153,374		153,374	0
合 計	153,374	0	153,374	0

## (2) 主要な負債の内容

## ① 支払手形の明細

該当するものはありません。

## ② 買掛金の明細

単位:円

内 訳	金 額
大学生協事業連合	185,600,032
そ の 他	16,705,449
合 計	202,305,481

## ③ 未払金の明細

単位:円

内 訳	金 額
大学生協事業連合	16,631,824
北海道大学 (水光熱費等)	3,466,179
月次支払2件分	738,380
合 計	20,836,383

## ④ 未払法人税等の明細

単位:円

内 訳	金 額
法人税、法人道民税・事業税、法人市民税	722,000
未払消費税等	18,889,026
合 計	19,611,026

## ⑤ 未払費用の明細

単位:円

内 訳	金 額
未払職員給与	35,874,449
北海道大学 (自販機関連)	40,585,149
APEX(自販機関連)	60,370
合 計	76,519,968

## ⑥ 前受金の明細

単位:円

内 訳	金 額
組合員 (I Cプリペイド代金)	97,428,777
組合員 (ミールカード22年度代金)	1,102,398
組合員 (ミールカード3月分前受金)	4,436,072
組合員 (卒業衣裳レンタル金)	26,986,124
組合員 (卒業アルバム代金)	12,331,080
組合員 (卒業記念印鑑代)	0
組合員 (公務員講座前受金)	15,156,042
組合員 (PCプレミアサポート)	7,467,500
組合員 (カタログギフト商品代金)	18,000
書籍前受金 (水産)	4,348
合 計	164,930,341

## ⑦ 預り金の明細

単位:円

内 訳	金 額
組合員 (マンション敷金)	13,433,000
組合員 (ルームガイド預り)	8,927,643
組合員 (エルムテラス敷金、清掃料、町内会費等)	5,626,442
組合員 (MS清掃料、夜間巡回管理費、ガス灯油代)	7,541,240
組合員 (MS管理預り金)	4,336,464
組合員 (一般MS管理預り金)	3,063,374
組合員 (駐車場保証金)	69,390
組合員 (町内会費)	328,900
組合員 (I Cプリペイド預り)	644,756
組合員 (学生生活110番)	99,220
組合員 (助け合い奨学制度)	63,800
組合員 (アドビ学生ライセンス)	2,888,000
組合員 (レジ袋預り)	268,810
北海道大学 (学研災)	2,597,857
北海道大学 (留学生寄宿舎料)	14,891,945
北海道大学 (外国人宿舎)	0
北海道大学 (自販機設置賃料電気料)	3,507,423
北海道大学 (学生・教職員証再発行料金)	1,017,200
北海道大学 (入構I C手続料)	95,790
北海道大学 (練習船収納代金)	101,950
北海道大学 (文献複写)	43,129
未返還組合員出資金	305,000
社内団体預り金	10,361,353
受験宿泊利用代金	62,405,560
小 計	142,618,246
職員 (給与控除預り金)	317,753
組合員 (学生総合共済掛金)	730,960
小 計	1,048,713
合 計	143,666,959

## ⑧ 預り保証金の明細

単位:円

内 訳	金 額
アベックス (自動販売機保証金)	2,000,000
合 計	2,000,000

## ⑨ 長期未払金の明細

単位:円

内 訳	金 額
マンション修繕引当金	22,670,000
合 計	22,670,000

## ⑩ 仮受金の明細

単位:円

内 訳	金 額
2023新入生仮受出資金	430,000
合 計	430,000

## (3)比較貸借対照表および比較損益計算書

## ① 比較貸借対照表

単位:円

資産の部	2021年度	2022年度	負債・純資産の部	2021年度	2022年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	560,521,303	531,374,916	流動負債	814,804,017	633,057,402
現金預金	115,261,060	161,921,192	買掛金	260,369,458	202,305,481
売掛債権	236,891,010	174,731,189	短期借入金	150,000,000	0
商品及び原材料	175,573,856	163,684,867	未払金	23,516,236	20,836,383
立替金	130,180	211,068	未払法人税等	722,000	722,000
前払費用	2,222,848	2,221,445	未払消費税等	14,606,630	18,889,026
未収金	32,462,349	30,605,155	未払費用	67,819,141	76,519,968
短期貸倒引当金	▲ 2,020,000	▲ 2,000,000	前受金	195,265,850	164,930,341
			預り金	98,438,702	143,666,959
固定資産	670,293,323	644,784,839	賞与引当金	3,006,000	4,624,000
有形固定資産	521,626,515	504,640,605	ポイント引当金	0	133,244
建物及び付属設備	740,295,002	740,295,002	仮受出資金	1,060,000	430,000
減価償却累計額	▲ 295,150,464	▲ 323,885,610			
	445,144,538	416,409,392	固定負債	305,418,536	274,272,536
車両運搬具	0	0	長期借入金	80,000,000	80,000,000
減価償却累計額	0	0	退職給付引当金	203,748,536	169,602,536
	0	0	預り保証金	2,000,000	2,000,000
器具備品	375,542,799	389,424,765	マンション修繕引当金	19,670,000	22,670,000
減価償却累計額	▲ 358,543,804	▲ 360,676,534			
	16,998,995	28,748,231	負債合計	1,120,222,553	907,329,938
土地	59,482,982	59,482,982	(純資産の部)		
無形固定資産	3,662,434	2,153,234	組合員資本	110,592,073	268,829,817
ソフトウェア	3,662,434	2,153,234	出資金	383,650,901	393,788,501
その他固定資産	145,004,374	137,991,000	剰余金	▲ 273,058,828	▲ 124,958,684
関係団体出資金	110,761,000	103,261,000	法定準備金	0	0
子会社等株式	11,900,000	11,900,000	施設整備積立金	0	0
長期貸付金	0	640,000	当期未処分剰余金	▲ 273,058,828	▲ 124,958,684
差入保証金	22,190,000	22,190,000	(うち当期剰余金)	▲ 38,710,332	148,100,144
長期貸倒引当金	0	0			
その他固定資産	153,374	0	純資産合計	110,592,073	268,829,817
資産合計	1,230,814,626	1,176,159,755	負債・純資産合計	1,230,814,626	1,176,159,755

② 比較損益計算書

単位:円

勘定科目	2021年度実績	2022年度予算	2022年度実績	対前年増減額	対予算差異額
供給高引	2,872,321,711	3,148,063,000	2,989,513,356	117,191,645	▲ 158,549,644
供給値給	21,992,464	32,437,000	20,544,895	▲ 1,447,569	▲ 11,892,105
供給給原高	2,850,329,247	3,115,626,000	2,968,968,461	118,639,214	▲ 146,657,539
供給剰余金	2,345,813,745	2,496,232,000	2,388,572,390	42,758,645	▲ 107,659,610
供給剰余金	504,515,502	619,394,000	580,396,071	75,880,569	▲ 38,997,929
共同受託手数料収入	19,829,102	20,043,000	20,908,846	1,079,744	865,846
供給事業手数料収入	13,056,910	11,031,000	14,499,880	1,442,970	3,468,880
不動産賃貸収入	114,047,210	112,157,000	112,280,970	▲ 1,766,240	123,970
その他手数料収入	160,029,578	161,098,000	175,542,273	15,512,695	14,444,273
その他事業収入計	306,962,800	304,329,000	323,231,969	16,269,169	18,902,969
事業総剰余金	811,478,302	923,723,000	903,628,040	92,149,738	▲ 20,094,960
役員報酬	8,608,000	9,475,000	8,584,000	▲ 24,000	▲ 891,000
職員給与	108,004,059	102,339,000	96,154,826	▲ 11,849,233	▲ 6,184,174
退職給付	300,804,730	331,702,000	321,203,635	20,398,905	▲ 10,498,365
法定福利費	8,412,510	9,144,000	7,988,040	▲ 424,470	▲ 1,155,960
厚生年金	44,032,687	37,184,000	40,428,068	▲ 3,604,619	3,244,068
賞与	3,471,603	3,239,000	5,193,523	1,721,920	1,954,523
遣人費用	19,155,000	19,346,000	21,264,000	2,109,000	1,918,000
人件費	0	0	137,475	137,475	137,475
合計	492,488,589	512,429,000	500,953,567	8,464,978	▲ 11,475,433
教育文化	2,594,725	2,954,000	2,906,856	312,131	▲ 47,144
広告	41,275,743	41,792,000	43,392,434	2,116,691	1,600,434
消耗品	21,251,682	26,687,000	30,145,709	8,894,027	3,458,709
物流	1,200,000	900,000	1,218,428	18,428	318,428
車輻運搬	31,123,667	30,899,000	30,061,438	▲ 1,062,229	▲ 837,562
倒引当金繰入	0	0	▲ 20,000	▲ 20,000	▲ 20,000
ポイント当金繰入	0	0	133,244	133,244	3,244
施設維持管理費	26,259,207	23,663,000	29,617,674	3,358,467	5,954,674
減価償却	42,485,021	38,339,000	38,880,408	▲ 3,604,613	541,408
貸借料	8,406,530	8,386,000	8,370,559	▲ 35,971	▲ 15,441
水道光熱	33,988,651	41,597,000	49,425,668	15,437,017	7,828,668
保険	1,687,560	1,461,000	1,715,803	28,243	254,803
委託	96,185,028	101,507,000	97,550,370	1,365,342	▲ 3,956,630
研修	1,200,489	911,000	4,443,294	3,242,805	3,532,294
調査	651,361	588,000	785,978	134,617	197,978
研究会	721,872	2,269,000	959,343	237,471	▲ 1,309,657
諸渉	11,476,650	9,572,000	9,804,538	▲ 1,672,112	232,538
租税	30,000	0	0	▲ 30,000	0
租税	8,784,809	8,559,000	8,578,396	▲ 206,413	19,396
通信	9,857,112	10,448,000	11,589,523	1,732,411	1,141,523
雑費	20,215	17,000	85,563	65,348	68,563
事業連合委託費	61,871,000	61,208,000	61,916,000	45,000	708,000
物件費	401,071,322	411,757,000	431,561,226	30,489,904	19,804,226
事業経費合計	893,559,911	924,186,000	932,514,793	38,954,882	8,328,793
事業剰余金	▲ 82,081,609	▲ 463,000	▲ 28,886,753	53,194,856	▲ 28,423,753
受取利息	476	527	527	51	527
受取配当	524,800	525,000	433,600	▲ 91,200	▲ 91,400
雑収入	59,058,637	6,910,000	40,918,165	▲ 18,140,472	34,008,165
事業外収益	59,583,913	7,435,000	41,352,292	▲ 18,231,621	33,917,292
支払利息	0	0	36,235	36,235	36,235
雑損	15,679,665	692,000	511,520	▲ 15,168,145	▲ 180,480
事業外費用	15,679,665	692,000	547,755	▲ 15,131,910	▲ 144,245
経常剰余金	▲ 38,177,361	6,280,000	11,917,784	50,095,145	5,637,784
特別利益	200,000	0	164,109,692	163,909,692	164,109,692
特別損	10,971	0	16	▲ 10,955	16
税引前当期剰余金	▲ 37,988,332	6,280,000	176,027,460	214,015,792	169,747,460
法人税等	722,000	0	27,927,316	27,205,316	27,927,316
過年度法人税等	0	0	0	0	0
当期剰余金	▲ 38,710,332	6,280,000	148,100,144	186,810,476	141,820,144
当期首繰越剰余金	▲ 234,348,496	0	▲ 273,058,828	▲ 38,710,332	▲ 273,058,828
目的積立金取崩	0	0	0	0	0
当期未処分剰余金	▲ 273,058,828	6,280,000	▲ 124,958,684	148,100,144	▲ 131,238,684

10. 製造原価の明細

該当する事項はありません。

# 監査報告書

2022年度（2022年3月1日から2023年2月28日まで）における理事の職務執行について監査を行った。その方法及び結果について、以下のとおり報告する。

## 1. 監査の方法及びその内容

- ・監事会は、監査の方針を定め、各監事から監査の実施状況及び結果について報告を受けた他、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。
- ・各監事は、監査方針に従い、他の監事と意思疎通及び情報交換を図るほか、理事、その他の職員等との意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めた。
- ・各監事は理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び幾つかの事業所において業務及び財産の状況を調査した。
- ・理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他組合業務の適正を確保するために必要な体制の整備に関する理事会決議の内容、及び当該決議に基づいて整備されている体制（内部統制システム）の構築・運用の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。
- ・子会社等については、子会社等の取締役・監査役と意思疎通及び情報の交換を図り、定例理事会等を通じて子会社等における事業の報告を受けた。
- ・さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失処理案）及びその附属明細書について検討を行った。

## 2. 監査の結果

### （1）事業報告書等の監査結果

- 一. 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認める。
- 二. 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。

### （2）決算関係書類（損失処理案を除く）及びその附属明細書の監査結果

- 一. 決算関係書類（損失処理案を除く）及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### （3）損失処理案

- 一. 損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められなかった。

## 3. 追記事項

なし

2023年4月17日

北海道大学生協同組合

監事会議長 芳賀 永

監 事 岡野 泰樹

監 事 浦田 翔吾

監 事 黒川 昇悟

監 事 寺西ほの花

## 第2号議案 北大生協3ヶ年再生計画決定の件

2021年度総代会第2号議案での承認に基づき、北大生協では2023年度以降3か年の中期計画を策定しました。

- 4月理事会（4月20日）「北大生協3ヶ年再生計画」策定委員会設置、承認
- 9月臨時理事会（9月7日）最終案確定

北大生協3ヶ年再生計画方針、委員の構成員・討議テーマなどはこのあとの資料を参照ください。



# 「北大生協 3 ㄱ年再生計画」

(委員会案報告)

2022 年 9 月 7 日

北大生協 3 ㄱ年再生計画策定委員会

2022年9月7日(水)

北海道大学生協同組合理事会 殿

北大生協3ヶ年再生計画策定委員会  
委員長 坂爪 浩史

## 委員会最終報告「北大生協3ヶ年再生計画」(委員会案)の提出

当委員会は、北大生協理事会の委嘱により、「北大生協3ヶ年再生計画」策定にあたってきました。

先に提出した中間のまとめを踏まえ、本格的な再生を実現するためには、より長期的な計画を組み立てて、組合員の参加を求めるべきとの確認もありましたが、今すぐに実行に移るべきことを提起した内容で、23年度から25年度の3ヶ年の計画案を提出させていただきます。理事会での審議を経て、組合員及びすべての構成員との論議で具体化を進められますよう、お願いいたします。

# 「北大生協 3 ヶ年再生計画」(案)

## ➤ はじめに

北海道大学生協同組合（以下「北大生協」という。）は、大学にどう学生・院生・教員・職員によって構成され、すべての構成員のつながり、参加を大切に、理事会、生協職員とともに経営・事業を営んできました。しかし、北大生協の経営は過去 15 年を見ても赤字構造であったことを前提に、コロナ禍による急激な供給高の縮小と経費削減が追い付かないことで大きな累積欠損が生じました。そのため出資金総額に対する債務相殺率が 70%（2021 年度当期末処理損失金 2 億 7,300 万円）を超える事態となりました。経営は危機的な状況と重く受け止め、抜本的な経営再生計画の立案、執行が必要な状況を認識し、「北大生協 3 ヶ年再生計画」策定委員会を立ち上げ、全国大学生協同組合連合会（以下「全国大学生協連」という。）、大学生協事業連合北海道地区（以下「事業連合」という。）、北海道の大学生協（以下「会員生協」という。）の支援を受けながら 3 ヶ年の再生計画を策定してきました。

これまで大切にしてきたつながりを引継ぎ、組合員、大学、他の協同組合と協力して、組織再生（\* 組合員の協同による生活向上を図る運営への再生）、事業再生（\* 大学生活を支え、安定した剰余を生む構造への再生）計画を実現させ、組織の活性化が急務になっている状態です。

よって、「北大生協 3 ヶ年再生計画」は理事会を中心に執行し、組織一丸となって取り組むことがとても重要です。再生計画の実行状況、到達状況は定期的に理事会で共有、点検を行い、再生計画の強化を図っていきます。再生方針が計画に沿って進められない課題が発生、新たな対策が発生したとき、大学を取り巻く環境の変化では、特に施設課題について、大学と情報共有をする中で大きな費用投資、緊急対応が必要な案件は、その都度、理事会に報告、協議をおこない判断させていただきます。大学、組合員とも情報共有を行い進めるようにします。

## ➤ 「北大生協 3 ヶ年再生計画」の実施期間

2023 年度から 25 年度までの 3 期（2023 年 3 月～2026 年 2 月）を実施期間とします。

## ➤ 「北大生協 3 ヶ年再生計画」の取扱い

- ・2023 年度通常総代会に「北大生協 3 ヶ年再生計画」を報告します。
- ・理事会、各組織委員会と協議継続するほか、ワーキンググループの設置も検討します。  
工程表を別途作成します。
- ・2023 年度につなげるために必要な取り組みは理事会で共有を図り 10 月から着手していきます。

## 「北大生協 3 ヶ年再生計画」方針

### ・基本方針 1

組合員同士の「つながり」や北大生協と組合員との「つながり」を大切に、「身近」で「必要」とされる生協を目指します

### ・基本方針 2

『北海道大学の発展と魅力ある大学づくり』に貢献し、大学に広く深く根付いた存在になることを目指していきます。

### ・基本方針 3

北大生協が大学に在り続けるために、事業構造の抜本的な見直しを行います。

・基本方針 1、2、3 を達成するための再生課題

## ● 組織課題の4つの再生ポイント

### 1 組合員同士、組合員と生協のつながりを深める活動

- 日常の組合員との接点づくりのツール「組合員の声 BOX」を全店設置、掲示を進め「つながり」から組合員参加を深めます。要望に応え実践できたことの「見える化」、お知らせを積極的におこない、生協運営に貢献、参加を高められるようします。
- 学部別の利用者ミーティング、アンケートを年 2 回程度開催し、組合員と一緒に支えてもらえる「身近」な生協運営を目指し、学部店のサービス向上、活性化を目指します。
  - ◆ 学部店の厳しい損益構造の改善に向けて、学部店毎の特徴を深く探り、需要の掘り起こし、事業再生に着手していきます。
  - ◆ 店舗の役割、機能は、学部毎の組合員の生活場面で果たす役割があり、部門で括らず、部門間で連携して事業の構築（例：購買外売店、書籍外売店で注文を受けた商品の学部店受取りサービス）を行います。各店舗の役割、機能（品揃え、営業時間）を見直すことで、広い学内で複数店舗運営できている優位性の発揮を強めていきます。
- 生協運営の基本である組合員及び大学構成員（学生・院生・教員・職員）と生協職員の「つながり」を深めるコミュニケーションの場、総代会議、各組織委員会の計画的な開催をおこない、学生、教職員からの知恵や経験を店舗政策、実現に活かすことを強めていきます。

- 学生組織委員会、院生組織委員会、教職員組織委員会では、日常組合員とのつながりで身の回りで起きている変化を捉える活動に力を貸してもらい、組織の垣根を超えた交流（学生、院生、教職員組織合同）を年2回程度開催し、合同で組合員に寄与する活動を模索します。
- 留学生組織委員会の再建に職員の専任担当者の配置をして、留学生の大学生活サポートを強められるようにします。

## 2 組合員加入を推進する取り組み

- 教職員組合員加入率 50%を目指すために組合員加入メリットの周知を強めていきます。  
学部店を中心に教職員へのアプローチを強め、生協の認知度の向上と組合員である優位性を実感できるサービスの拡大に取組み、教職員加入増を目指していきます。
- 全ての事業を知ってもらうことを意識して、広がる情報発信を強めていきます。
  - ◆ 新学期は、早期（8月）から北大受験を考えている受験生本人、保護者に「大学生の生活、暮らしの情報を一番持っているのは北大生協だ」ということが伝わる情報発信を強め、資料請求を増やしていきます。合格後の個人情報の捕捉率をアップさせ対策を図れる取り組みを進めます。
  - ◆ 理事会、教職員総代会議で、購買、食堂企画について「知らなかった」という声が多く聞かれる対策をTwitter、ホームページ、紙媒体などあらゆる情報ツールを活用して、情報を届ける取り組みを積極的に取組んでいきます。

## 3 大学との関係強化

- 総長、副学長との面談は、報告から福利厚生の充実に向けて双方対話による信頼関係を築けるようにします。  
総長面談は年2回、理事長、学生委員長同行で定期開催していきます。
- 大学との福利厚生事業の委託契約に基づき、学生だけではなく教職員も含めた福利厚生事業の充実に向けて検討を重ねます。
- 大学の協議に参画できることを研究し、北大生協の経営状況、学生、教職員への大学生活サポートの取り組み、学生、教職員が加入する生協の特徴と強み、大学運営に積極的に関与、協力できることを伝え、生協の認知度を広く伝えられることを目指します。
- 学生の安心と安全のための取り組みを強めていきます。  
学生の無保障者（生協共済・保険、または大学がすすめる保険にも一切加入していない学生）を減らす取組みを大学と協力してすすめ、助けあい、学業継続を支える貢献ができるよう、加入対策を進めていきます。

4 全ての生協職員に再生計画の課題執行に関与してもらい目標達成を目指し働き甲斐のある北大生協をつくります。

- 年 2 回（上期、下期）全体職員集会を開催し、理事会、幹部職員、各組織委員会と一緒に、目標の到達状況、取り組み課題などを共有、コミュニケーションを図っていきます。
- 職員給与を各年 5%の改善を予算化し 25 年度までにコロナ禍前の水準に戻せる計画をします。
- 正規・シニア職員、定時・フレンドリー職員、アルバイト職員、全ての生協役職員と協働し、組織課題、事業課題を解決していきます。

## ● 事業課題の 5 つの再生ポイント

### 1 新学期事業の再生

- 新入生のニーズ、期待の高い分野は、過去最高の数値目標を掲げ事業構造の改善につなげていきます。

2025 年度までに共済加入率 85%/パソコンシェア率 50%/ミール利用率 60%を目指します。

2025 年度は新学期事業の伸長で、供給 1 億 5,000 万円、供給剰余 2,700 万円、共済手数料収入 350 万円を増やす計画です。

- ◆ 全国の会員の中では掲げる数値目標を既に達成している会員があります。連合会新学期事業のサポートも受けて、全国の先進事例を研究し、北大生協へ組み込み（まねる）目標達成を目指します。
- ◆ 新学期プロジェクトを提案主体とし、北大生協の強みであるお部屋紹介事業からのつながりをつくり、他事業分野のシェア率アップを目指します。
- ◆ 学生組織委員会、学生アドバイザーの力も借り、先輩学生が実体験している大学生活や暮らしの情報を一番持っているのは北大生協だよと強く発信し、北大生協からの情報を入手したい保護者を増やしていきます。

### 2 フードサービス事業の再生

- 2025 年度はミールプランの伸長で、供給 3 億 2,000 万円、供給剰余 1 億 6,000 万円を増やす計画です。

- ◆ 2025 年度までに新入生シェア率 60%、全学生シェア率 30%を目指します。ミールプランにより食費の心配なく食堂が利用できる環境を整備します。
- ◆ 食堂改革と営業時間拡大により、1 日 2 食（もしくは 3 食）利用してもらえる食堂を目指します。  
1 日 3 食利用できる環境を確保するため、営業時間拡大を行います。朝、昼、夕と 3 つのシーンに応えるメニューを提供すること、食堂ごとに異なるコンセプトを持つことで毎日・毎食利用できるフード事業づくりを進めます。

例) 朝食：「北部食堂で」栄養を考えたメニュー、昼食：「各学部店食堂で」スピード提供重視、夕食：「中央食堂で」鉄板メニュー等特別感あるメニューが出食できる運営を目指していきます。

### 新学期重点事業の年度別数値目標

項目	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	シェア率	23年度計画	シェア率	24年度計画	シェア率	25年度計画	シェア率
入学者 (人)	2,676	2,668	2,645	2,670	2,511		2,600		2,600		2,600	
生協加入 (人)	2,392	2,351	2,192	2,267	2,326	92.6%	2,470	95.0%	2,470	95.0%	2,470	95.0%
生命共済 (人)	1,643	1,668	1,695	1,335	1,339	55.7%	1,606	65.0%	1,853	75.0%	2,100	85.0%
ミールカード (人)	567	718	616	814	685	27.2%	1,040	40.0%	1,040	40.0%	1,040	40.0%
パソコン (台)	800	737	749	664	679	29.2%	910	35.0%	1,170	45.0%	1,300	50.0%
iPad (台)				68	68	2.7%	260	10.0%	390	15.0%	390	15.0%
プレミアムサポート (人)			543	496	482	19.1%	910	35.0%	1,170	45.0%	1,300	50.0%
スタートアップ講座	38	28	5	2	5	0.2%	52	2.0%	104	4.0%	156	6.0%
TOEFLスターキット (人)	406	497	322	199	167	6.7%	520	20.0%	520	20.0%	520	20.0%

### 3 書籍損益構造の改善

- 書籍部門全体で損益改善を目指す対策討議を 2023 年度計画します。2023 年度上期を目処に損益改善の対策をまとめ 2024 年度 600 万円の損益改善を目指します。
  - ◆ 図書館納品割引率変更（例：10%→5%）、訪問営業の完全撤退（仮）、校費対応は店舗受注（仮）、配達は購買外売店と統合（仮）、学部店店舗でお渡し（仮）を検討し、効率化を目指せることなど、様々な角度から書籍損益構造の改善を図れないか検討していきます。
  - ◆ 在庫高の適正化、クラーク会館の在庫 30～50%減少させ、維持費（費用）削減を含めて、商品構成の見直し（研究対象の専門書店へ特化）など慎重に検討していきます。
  - ◆ 書籍損益構造改善を討議するメンバーには、教職員、学生、院生にも協力をお願いして、書籍部門の経営状況を理解してもらい事業構造の改善を進めることが重要だと考えています。

### 4 学部店の損益構造の改善

- 学部店の対策、効率的運営をするために、現状の仕組み、内容を見直し、再構築をして、赤字解消に取り組んでいきます。2023 年度は学部店全体で 700 万円の損益改善を目指します。
  - ◆ 学部別に学部長、事務長訪問を定期的に行い、学部毎の大学生活を把握し、学部店毎の営業スタイル（営業時間の夏短縮、冬延長）、無人店舗化、セルフレジ導入の研究を進め、効率化を含めた検討をしていきます。

#### 個店対応課題（案）

- ◆ 店舗別による学部長・事務長訪問、組合員ミーティングを開催することで適正かつ組合員への納得感のある対応を進めます。

- ◆ 工学部店・薬学部店：季節別営業時間最適化、時間帯別無人店舗化による人件費削減、供給増
- ◆ 医学部店・文系ミニショップ店：席数や登校率に応じて一定期間の休店
- ◆ 農学部店                   ：学部協力による供給促進、季節による食堂一時休店
- ◆ 再生計画で取り上げない部門、店舗も重要な位置づけを担っており、環境が厳しく供給増が見込めなくとも、店舗運営の効率化を進め最終的な事業剰余は維持し可能な限り改善を進めていきます。

## 5 施設設備整備計画の構築

- 必要な設備・施設の改修計画を確立し、計画的な組合員の利用環境の整備を行います。
- 大規模な施設計画については、大学との協議を行いながら、重点店舗への絞り込みの投資を予定します。  
函館キャンパス新施設（9月理事会提起）、中央厚生会館2階施設（理事会再提起）投資計画は予定通り組み込みます。

## ● 3ヶ年の損益構造の概要

（2022年度見通し、3ヶ年の損益構造の詳細は別紙参照）

- 2022年度剰余財産分配金、事業連合特別拠出金を見込んだ決算見通し
- 2023年度からは「北大生協3ヶ年再生計画」の組織、事業課題執行目標達成による経常剰余金
- 北大生協の管理マンションの修繕、店舗会館店施設修繕の計画が必要です。永続的に続く北大生協とするため修繕引当金を毎年引当てる計画します。
- 2025年1,400万円（22年見込みから+1,100万）マンション、会館店施設修繕
- 函館キャンパス（24年度1,000万円）、中央厚生会館2階（2023年度2,000万円）見込みました。

★2022年 経常剰余金	14,256千円	（経常剰余率 0.5%）	累積欠損▲71,287千円
★2023年 経常剰余金	7,363千円	（経常剰余率 0.2%）	累積欠損▲63,924千円
★2024年 経常剰余金	13,779千円	（経常剰余率 0.4%）	累積欠損▲50,145千円
★2025年 経常剰余金	13,459千円	（経常剰余率 0.4%）	累積欠損▲36,687千円



## 全国大学生協連経営支援金、全国大学生協連共済生活協同組合連合会（以下「共済連」という。）からの残余財産の分配の活用について

### ○全国大学生協連経営支援金について

- 全国大学生協連の経営支援金が決定されましたら 2023 年～2025 年まで各年 1,000 万円が支給されます。
- この支援金の一部を新学期事業及び、フードサービス事業、書籍事業対策を進めるために、全国の先進事例を研究する経費に活用します。その他無人店舗化、配送業務整備等、再生計画を成し遂げるための必要物件費としても活用します。支援金の活用については、理事会の了承を得たうえで実施していきます。
- 全国大学生協連の支援金は、2023 年度～2025 年度 3 ヶ年損益の収入計画に含めていません。

### \* 全国大学生協連経営支援金を受けるための会員再生計画の目標

#### 「2つの到達目標」

- 1、単年度の経営剰余黒字化（経常剰余率 1%）
- 2、累積赤字の早期解消

2022 年 1 月 12 日

全国大学生協連 会員「再生計画」策定  
手引き ～前編～ 『数値目標の指針』

- ・単年度での黒字構造の実現
- ・2025 年度経常剰余率 1%以上を目指す。

黒字化計画はできましたが、経常剰余率 1%の達成、3 年間での赤字解消はできていません。

3 ヶ年再生計画をしっかりと進め経常剰余 1,300 万円を出し続けて 2028 年度決算で累積赤字解消の見通し。

### ○共済連残余財産の分配金と活用について

残余財産の分配金は正式確定していませんが、見通しでは 2 億 550 万円です。

全国大学生協連から「残余財産の分配金」活用を検討する際の指針が提起されています。\* 詳細別紙参照  
北大生協は「残余財産の分配金」を累積赤字解消に活用をします。

2022 年度決算に反映される予定で、損益計算書では特別利益に計上されます。

同じく貸借対照表では純資産の部：未処理損失金が大幅に減少するとともに、資産の部：現預金が増えます。

流動資産が増え資金繰りが改善され、商品仕入れや取引先への支払い・組合員への返還などで、心配することが軽減されます。

( 参 考 )

## 「北大生協 3 ヶ年再生計画策定」の開催状況及び構成員

### 1、「北大生協 3 ヶ年再生計画策定」委員会の開催状況

第 1 回	2022 年 5 月 17 日 (火)	北大生協経年変化の分析、内部、外部環境の強み、弱みの発見
第 2 回	2022 年 5 月 24 日 (火)	学調・各アンケート結果、大学運営状況の報告、同規模生協の分析
第 3 回	2022 年 6 月 1 日 (水)	第 1・2 回委員会議論を踏まえ再生計画方針、課題、目標の検討
第 4 回	2022 年 6 月 7 日 (火)	6 月理事会中間報告に向けて、方針・目標・課題の「骨子」をまとめる
第 5 回	2022 年 7 月 6 日 (火)	中間のまとめの目標、課題につながる数値目標について討議
第 5 回	2022 年 8 月 3 日 (水)	2022 年度見通し、23 年度～25 年度取組む事業課題の討議
第 6 回	2022 年 8 月 23 日 (火)	3 ヶ年単年度黒字構造に進む事業系課題について討議
第 7 回	2022 年 8 月 30 日 (火)	北大生協 3 ヶ年再生計画、理事会答申について討議

開催時間 18 : 15 ~ 20 : 15 (2 時間)

討議の進め方 グループ討論、全体会議

### 2、「北大生協 3 ヶ年再生計画策定」委員会の構成員

委員長	坂爪 理事長 (大学教員)
委員	金川 理事 (大学職員)
	原 理事 (院生)
	小松 理事 (学生)
	須田 連合常務理事 (事業連合北海道地区)
	田端 北見工大生協専務理事 (事業連合全国理事)
	古屋 事務局長 (全国大学生協連・北海道ブロック)
	太田 店長 (北大生協職員)
	上田 副店長 (大生協職員)
	小助川 専務理事 (北大生協専務理事)
オブザーバー	芳賀 監事会議長 (大学教員)
	田代 理事 (学生)
	嶋崎 管理統括部長 (事業連合北海道地区)
	鏡 専務補佐 (北大生協常務理事)
	齋藤 専務補佐 (北大生協店舗事業部部長)
	片木 次長 (北大生協理事会室長)
	中森 専務理事 (全国大学生協連)
	和久井 (会員支援部)
	関口 (会員支援部)
	姫田 専務理事 (早稲田大学生協)

北大生協 3ヶ年損益計画

科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度予算	2022年度見通し	19/22差異	19/22比	22予算差異	22予算比	2023計画	2024計画	2025計画
供給高	4,143,040	2,839,044	2,872,322	3,148,063	3,098,859	-1,044,181	-25.20%	-49,204	-1.56%	3,334,782	3,453,882	3,551,274
購買供給高	2,191,950	1,944,054	1,916,838	2,005,217	1,967,247	-224,703	-10.25%	-37,970	-1.89%	2,029,534	2,085,315	2,109,143
サービス供給高	553,209	195,553	219,311	141,843	209,218	-343,991	-62.18%	67,375	47.50%	209,218	209,218	209,218
書籍供給高	418,518	414,304	395,657	478,390	426,769	8,251	1.97%	-51,621	-10.79%	436,848	415,910	415,130
食堂供給高	979,363	285,132	340,515	522,613	495,626	-483,737	-49.39%	-26,987	-5.16%	659,182	743,439	817,783
供給値引	30,603	26,296	21,992	32,437	29,000	-1,603	-5.24%	-3,437	-10.60%	30,000	31,000	32,000
純供給高	4,112,437	2,812,749	2,850,330	3,115,626	3,069,859	-1,042,578	-25.35%	-45,767	-1.47%	3,304,782	3,422,882	3,519,274
供給剰余金	955,477	471,372	504,516	619,394	584,454	-371,023	-38.83%	-34,940	-5.64%	683,855	701,005	742,622
GPR	23.23%	16.76%	17.70%	19.88%	19.04%	-4.20%	-18.06%	-0.84%	-4.23%	20.69%	20.48%	21.10%
共済受託手数料収入	19,010	20,293	19,829	20,043	22,440	3,430	18.04%	2,397	11.96%	23,240	23,940	25,940
教育文化事業収入	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	0
供給事業手数料収入	29,793	31,093	13,056	11,031	0	-29,793	-100.00%	-11,031	-100.00%	0	0	0
不動産賃貸収入	123,504	120,082	114,047	112,157	116,222	-7,282	-5.90%	4,065	3.62%	116,222	116,222	116,222
その他手数料収入	186,185	177,255	160,030	161,098	163,282	-22,904	-12.30%	2,184	1.36%	163,282	163,282	163,282
その他事業収入計	358,493	348,723	306,962	304,329	308,035	-50,458	-14.07%	3,706	1.22%	306,834	307,534	309,534
事業総剰余金	1,314,006	820,095	811,478	923,723	892,489	-421,517	-32.08%	-31,234	-3.38%	990,689	1,008,539	1,052,156
人件費合計	819,357	651,845	492,489	512,429	497,764	-321,592	-39.25%	-14,665	-2.86%	554,670	558,141	591,077
事業連合委託費(内)	91,590	88,535	61,871	61,208	61,208	-30,382	-33.17%	0	0.00%	70,000	80,000	90,000
物件費合計	538,870	465,693	401,071	411,757	406,413	-132,457	-24.58%	-5,344	-1.30%	436,090	444,055	455,055
事業経費合計	1,358,227	1,117,538	893,560	924,186	904,177	-454,049	-33.43%	-20,009	-2.16%	990,760	1,002,195	1,046,132
事業剰余金	-44,221	-297,443	-82,082	-463	-11,688	32,532	-73.57%	-11,225	2424.51%	-72	6,344	6,024
事業外収益	34,760	84,862	59,584	7,435	25,944	-8,816	-25.36%	18,509	248.94%	7,435	7,435	7,435
事業外費用	24,404	11,067	15,680	692	0	-24,404	-100.00%	-692	-100.00%	0	0	0
経常剰余金	-33,865	-223,648	-38,177	6,280	14,256	48,121	-42.09%	7,976	127.00%	<b>7,363</b>	<b>13,779</b>	<b>13,459</b>

累積欠損

-273,050

(単位：千円)

	2019年	2020年	2021年	2022年予算	2022年実績	2023	2024	2025
労働分配率	62.4%	79.5%	60.7%	55.5%	55.8%	<b>56.0%</b>	<b>55.3%</b>	<b>56.2%</b>
物件費分配率	41.0%	56.8%	49.4%	44.6%	45.5%	<b>44.0%</b>	<b>44.0%</b>	<b>43.2%</b>
経常剰余率	-0.8%	-7.9%	-1.3%	0.2%	0.5%	<b>0.2%</b>	<b>0.4%</b>	<b>0.4%</b>

# 第3号議案 2023年度事業計画及び予算決定の件

## 【1】事業活動に大きな影響がある環境変化

### 1. 社会・経済に関して

- ・ 新型コロナウイルス 2023年5月8日に「5類」変更になります。
- ・ エネルギー価格の高騰、世界的なインフレ（円安、現在価格の高騰）が考えられます。
- ・ 外食・小売の値上げ、消費者物価の上昇で、消費支出が増加し、収入が増加しなければ、消費行動の節約傾向が強まりそうです。
- ・ 人材確保の困難、賃金上昇が強まる傾向が続きそうです。

### 2. 大学に関して

- ・ 自立した経営を実現する財政基盤の強化に向けて、保有資産の有効活用による増収策が強まりそうです。
- ・ 民間との連携を含めた効率的な資産運用・活用で自己収入を増加させる組織的取組みが強まりそうです。
- ・ 大学保有の知的財産についてライセンス収入の増加、有償提供、商品化の活用で自己収入増が強まりそうです。
- ・ 福利厚生環境改善が強まる傾向があります。
- ・ 経費執行の効率化（令和9年度末までに電子購買システム利用率の増、経費削減が強まりそうです。）
- ・ 大学の水道光熱費の上昇 → 校費抑制につながる可能性があります。

### 3. 北大生協に関して

- ・ 再生3ヵ年計画1年目、3つの基本方針の基盤作りの大切な初年度になります。
- ・ 対面授業本格再開2年目 → 1.2年生と3.4年生で大学生生活スタイルの特徴を捉えた事業推進が大切になります。
- ・ 新型コロナウイルス「5類」引下げ → これまでの感染防止対策を見直していきます。
- ・ 学内2店舗目のコンビニオープン 2022年3月31日（工学部鈴木記念ホール1階）
- ・ アプリ・ユビレジ、NR-G、新システムで迎える新学期 → 混乱、混雑対策を進め改善を図れるようにします。
- ・ 外食・小売の値上げ、消費者物価の上昇で組合員の利用が低迷する影響が考えられます。
- ・ 人材確保の困難、賃金上昇が強まる中で組合員サービスを維持できる体制を継続できるよう努めます。
- ・ 水産学部新施設 水産科学人材育成館へ 2024年3月購買店舗移設に向けた計画準備を進めます。
- ・ 中央購買2階改修計画の執行をできるよう準備を進めます。
- ・ 自動販売機入札 2023年7月に向けて検討していきます。
- ・ 2025年旧七帝大学体育大会 北海道大学主管校開催として大学、体育会などとの連携を図ります。

## 【2】2023年度全体方針

### 1. 北大生協3つの使命（2004制定）

- 01 北大生協は、北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービスで貢献します。
- 02 北大生協は、学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・協同の促進に寄与します。
- 03 北大生協は、持続発展手可能な地域社会・国際社会の実現に向けて力をつくします。

## 2. 「北大生協 3ヶ年再生計画」方針（2023年3月～2026年2月）

- ・基本方針 1 組合員同士の「つながり」や北大生協と組合員との「つながり」を大切に、「身近」で「必要」とされる生協を目指します
- ・基本方針 2 『北海道大学の発展と魅力ある大学づくり』に貢献し、大学に広く深く根付いた存在になることを目指していきます。
- ・基本方針 3 北大生協が大学に在り続けるために、事業構造の抜本的な見直しを行います。

### 基本方針 1 組合員同士の「つながり」や北大生協と組合員との「つながり」を大切に、「身近」で「必要」とされる生協を目指します

#### 1-1. 組合員の声を集める活動を進めます。

- 1-1-1 エリアごとに利用者ミーティングを開催します。2023年度の重点エリアは農学部、薬学部、工学部、北キャンパスとします。
- 1-1-2 全店舗で「組合員の声」BOXの再設置を行い、「組合員の声」の認知度を上げます。
- 1-1-3 ミーティングや「組合員の声」を店作り、棚づくりに活かします。

#### 1-2. 組織委員会活動を中心に「組合員のつながり作り」を進めます。

- 1-2-1 生協理事・生協職員を中心とした留学生委員会 PJ を立ち上げ、留学生委員会を再構築します。今年は秋にウェルカムパーティを開催します。
- 1-2-2 学生、院生、教職員委員会の合同委員会を開催（年2回）します。階層を跨いだ交流を行う事で、さらに組合員に寄与する活動を模索します。
- 1-2-3 組織活動に関わる組合員を増やします。（組織委員増、総代選出方法検討、総代ミーティング開催）
- 1-2-4 院生同志の横のつながりを増やすため今年も院生フェスタを行います。

### 基本方針 2『北海道大学の発展と魅力ある大学づくり』に貢献し、大学に広く深く根付いた存在になることを目指していきます。

#### 2-1. 大学と意見交換が出来る関係づくりを進めます

- 2-1-1 総長、副学長、学務部長との定期面談（年2回）を行います。特に2023年度は学生の無保障者を「0人」にする取組みを、大学と一緒にすすめます。学研災・付帯学倍と学生総合共済のすみ分けを明確にし、大学と共に加入推進を目指します。また、学生委員会も一緒に訪問し活動報告を行います。
- 2-1-2 各学部長・事務長への訪問を夏・春、特に店舗がある学部を優先的に行います。
- 2-1-3 関係部署への活動報告を強化します。2023年度の重点は新学期活動とします。（共済加入・予防→保健センター、PC 取り組み→情報企画課、等）

#### 2-2. 2025年度主管の七大戦準備を体育会と一緒にい関係強化を進めます。

- 2-2-1 体育会と密な情報交換が出来るよう、関係づくりを進めます。共済活動での協力を進め、加入率 UP・予防提案活動を強めます。

### 基本方針 3 北大生協が大学に在り続けるために、事業構造の抜本的な見直しを行います。

#### 3-1. 新学期事業の再生

- 3-1-1 シェア率「生協 95%、共済 65%、住まい 50%、ミールプラン 40%、PC35%」を目指します。
- 3-1-2 新学期活動を4月以降の事業活動につなげます。
- 3-1-3 全国の先進事例を研究し、取り入れます。

3-1-4 学生委員会、学生アドバイザーなど、新学期に関わる学生を増やします。

### 3-2. フードサービス事業の再生

3-2-1 営業時間拡大を進めます。2023年度の重点は朝食対応です。

3-2-2 各食堂のコンセプトを策定し、いろいろな店に行きたくなる食堂づくりを進めます。

3-2-3 ピーク時間帯の待ち時間短縮を強化します。(レジ、出食)

3-2-4 ケータリングサービス、コンパ、ジンパ(北大文化の復活)の再開を追求します。

### 3-3. 書籍損益構造の改善

3-3-1 クラーク書籍、書籍外売の赤字構造を脱却するため事業構造について対策委員会を立ち上げ討議を進めます。2024年度に600万の損益改善を行います。

### 3-4. 学部店の損益構造の改善

3-4-1 無人店舗化、セルフレジ導入の研究を進め、効率化を含めた検討をしていきます。2023年度の重点店舗は薬学部店、ポプラ店です。

3-4-2 店舗によっては、長期休業期間中(夏休み、春休み)の客数に応じて一定の休業期間を設け効率化を進めます。候補は医学部店、文系ミニショップです。

### 3-5. 施設設備整備計画の構築

3-5-1 函館キャンパス新施設、中央厚生会館2階施設の検討を進めます。

## 特記事項

### 4-1. アプリの活用を進めます。

商品・サービス購入時に時間帯別、曜日別等、今までには無かったイベント開催を検討します。

### 4-2. 公費対策

新任教員への営業活動を強化します。営業と店舗の連携を強化し利用しやすい環境づくりを進めます。

また、電子購買システムの改修を検討します。

### 4-3. 広報

部門を横断し、整理された情報発信を進め、SNSの整理を行います。

### 4-4. 生協職員が役割発揮出来る環境づくりを進めます。

組合員の生活向上を形にしていくことが生協職員の役割です。役割が発揮できる環境づくりを進めます。

4-4-1 組合員との交流の機会を増やします。組合員ミーティングへの参加を位置づけます。

4-4-2 組織委員と店舗イベントを行ったり、店舗クリニックを行ったりと一緒に店舗作りを進めます。

### 【3】事業計画予算

#### 1. 損益予算

北大生協計	19年～21年 実績				2023年予算		
	19実績	20実績	21実績	22実績	23予算	予算増減	前年増減
供給高	4,143,039	2,839,029	2,872,322	2,989,513	3,049,679	60,166	2.0%
供給値引高	30,603	26,293	21,992	20,545	33,060	12,515	37.9%
供給剰余金	955,477	471,348	504,516	580,396	648,303	67,907	10.5%
G P R	23.06%	16.60%	17.56%	19.41%	21.26%		0.0%
利用剰余金	0	0	0	0		0	
共済受託手数料収入	19,010	20,293	19,829	20,909	19,169	-1,740	-9.1%
供給事業手数料収入	29,793	31,087	13,057	14,500	11,713	-2,787	-23.8%
不動産賃貸収入	123,504	120,081	114,047	112,281	110,954	-1,327	-1.2%
その他手数料収入	186,186	177,242	160,030	175,542	165,880	-9,662	-5.8%
事業総剰余金	1,314,006	820,051	811,478	903,628	956,019	52,391	5.5%
人件費合計	819,357	651,569	492,489	500,954	531,430	30,476	5.7%
物件費合計	538,870	465,683	401,071	431,561	420,274	-11,287	-2.7%
(内・連合委託費)	91,590	88,535	61,871	61,916	62,868	952	1.5%
事業経費合計	1,358,227	1,117,252	893,560	932,515	951,704	19,189	2.0%
事業剰余金	-44,221	-297,201	-82,082	-28,887	4,315	33,202	769.4%
受取利息	1	0	0	0	0	0	
受取配当金	525	524	525	434	434	0	0.1%
雑収入	34,234	83,798	59,059	40,918	13,800	-27,118	-196.5%
事業外収益	34,760	84,322	59,584	41,352	14,234	-27,118	-190.5%
支払利息	176	277	0	36	0	-36	
雑損失	24,228	10,788	15,680	512	0	-512	
事業外費用	24,404	11,065	15,680	548	0	-548	
経常剰余金	-33,865	-223,944	-38,177	11,918	18,551	6,633	35.8%
特別損益	-20	36,095	189	164,110	0	-164,110	
税引前当期剰余金	-33,885	-187,849	-37,988	176,027	18,551	-157,476	-848.9%
法人税等	722	722	722	27,927	722	-27,205	-3768.0%
当期剰余金	-34,607	-188,571	-38,710	148,100	17,829	-130,271	-730.7%

#### ・供給

食堂は対面授業再開2年目、営業時間延長により客数・供給を計画した。2019年度比7割まで回復・前年比約30%伸長目標で計画しました。

購買・書籍店舗は新学期関連商材の利用増を見込んだ。外売購買・外売書籍をはじめとする公費供給は光熱費増などの営業があり、前年比から約10%減としました。

#### ・供給剰余

剰余率の高い食堂供給比率が高まるため供給以上の伸長計画としました。

#### ・手数料収入

CSS 年度決算戻しと、自販機環境対策費の収入を想定しないため減少計画としました。

#### ・経費関連

人件費は、経営再建計画に基づいた月額給与の減額を終了したこと、食堂職員時給を1000円～（2023年3月1日から）にしたこともあり5.7%増で計画しました。

物件費は、光熱費が前年比約55%増になりましたが、システム関連費用の削減により約2.7%減の計画としました。

## 【4】組織活動方針

### 1. 学生組織委員会

#### 23年度 学生組織委員会 展望

#### 1. 組合員が主体的につくるよりよい大学生活

組合員である学生委員が周りの組合員を巻き込んで活動を行うことで、組合員が運営する大学生協だという認識を広めます。組合員がより気軽に大学生協に意見を言える機会をつくり、その意見を反映して活動を作ることで、組合員のよりよい生活の実現を目指します。

#### 2. 幅広い層の組合員に寄り添った活動

2年生以上の学部生や院生、教職員など幅広い層に向けた企画を作っていきます。企画作りの際には広く組合員の声を聞いて、組合員の現状に基づいて活動することを大切にします。

#### 3. また利用したいと思えるお店・参加したいと思える企画づくり

店舗でのイベントや共済の企画など組合員の生活への結びつきが強い活動にもより力をいれて活動します。組合員からフィードバックを集めて以降の活動に反映し、組合員が日常的に利用したいと思えるお店づくり、参加したくなる魅力ある企画づくりを目指します。

#### 4. 総代との連携

「総代のつどい」など総代の意見を汲み取る場を積極的に設け、総代と連携して組合員の現状を把握し、活動に活かすことでよりよい大学生協を作っていきます。

### 2. 院生組織委員会

#### 「あい」からつくる ともにかがやく

この激動の時代のなか多くの組合員が自身の生活を見つめ直し、学部や階層などの垣根を越えて心と力を合わせ、輝かしい生活を実現できるよう目指していきます。

#### 1. 「愛」からつくる

組合員が北大生協やと大学生活において自分なりの「好き」を見つけられるようにします。

#### 2. 「I」(=私)からつくる

組合員がみな主体的に自分自身と向き合って、より健康で快適な生活、より充実した学び、より楽しみや生きがい に満ちた日々を自ら実現できるような企画をつくります。

#### 3. 「合い」からつくる

各組織委員、総代、理事、監事、職員・店員、その他組合員、他大学、地域などさまざまな仲間たちとのコミュニケーションを大切にします。



4. 「あ・い」からつくる（日本語の五十音は「あ」「い」から始まることから）  
北大生協や組合員、北海道大学、社会の状況を十分に把握・分析し、「新しいものをつくる」という心意気とそれを可能にする斬新なアイデアで企画をつくります。

### 3. 留学生組織委員会

1. 2023 年度は留学生委員会再建に向け、メンバー集めと活動の基盤づくりを行います
2. 留学生どうしの交流、留学生と非留学生の交流、日本や海外の文化を学ぶための場をつくること、留学生の視点を北大生協の事業や店舗づくりに活かすことを目指します。
3. 学内の留学生団体への声かけ、店舗を通じた留学生利用者への働きかけを行い、さまざまな地域・文化の留学生委員を集めることを目指します。
5. 9 月もしくは 10 月にウェルカムパーティーを実施すること、来年度に向けて留学生向けのパンフレットを作成することを目標とします。

## 第4号議案 役員報酬限度額決定の件

役員の年間報酬（2023年6月～2024年5月）について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則にもとづいて支給すること、及び、各役員の報酬額・支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

### （1）理事（21名）の報酬（総額）

常勤理事（1名）と非常勤理事（20名）の報酬の限度額を1,600万円とします。

この金額は、前年の総代会で議決した金額と同じです。

1. 常勤理事の報酬は、北海道内の大学生協で統一し共通運用している給与・退職金制度に基づき、「年齢給」+「職能給（キャリア）」+「役職給（ポスト）」×（賞与）の合算で決められています。

尚、月額報酬はそれらの合算の12分の1を月額報酬としています。

また総額には、専務理事1名の役員就任期間に対応する退職金相当額引当も含まれます。

役員報酬計上額の23年度予算6,552,000円（前年実績6,840,000円）

### （2）監事（4名）の報酬（総額）

1. 非常勤監事（4名）に関する報酬の限度額を60万円とします。

この金額は、前年の総代会で議決した金額と同じです。

## 第 5 号議案 定款一部改正の件

以下とおり、定款を改正いたします。

### 1、改正の内容

改正前	改正後
第 6 5 条 総代会の議事については、法令で定める事項を記載した議事録を作成し、 <b>議長及び代表理事が</b> これに署名または記名押印する。	第 6 5 条 総代会の議事については、法令で定める事項を記載した議事録を作成し、 <b>作成した理事及び議長が</b> これに署名又は記名押印するものとする。

### 【改定の理由】

生協法第 45 条第 1 項と生協法施行規則第 163 条により、「総(代)会の議長の氏名」および「議事録を作成した理事の氏名」は総代会議事録に記載すべき必須事項になっています。

模範定款例にしたがって議事録を作成すれば、自動的に法令の定める規定を守ることができますが、北大生協の定款では、法令の定めに加え「代表理事が署名または記名押印を行う」必要があります。以上については、代表理事が議事録を作成して、議事録には「議事録を作成した理事 代表理事 ○○ ○○」等が記載されていれば何ら問題はありますが、万一「議事録を作成した理事」が誰であるかの記載が漏れている場合は、法令違反の議事録になるため改正します。

## 第6号議案 議案決議効力発生の特

議案の本旨に反しない範囲の字句の修正を理事会に一任します。総代会終了届け等の行政上の手続きの際、字句の間違い訂正や法律用語等が不正確な表記で訂正しなければならない場合があります。その場合には字句修正をして手続きを進めます。

## 役員選挙

- 1.役員定数は定款第 18 条にもとづき、第 8 回理事会（2023 年 1 月）にて理事 21 名・監事 5 名と決定しました。その半数以上は学生・院生となります。
- 2.役員選挙は、2023 年 4 月 3 日に公告され、4 月 5 日から 4 月 12 日の締切日までに理事会推薦の役員候補以外に立候補がありませんでした。つきましては、理事会推薦候補は定数内であるため、役員選挙規約第 12 条および第 13 条に基づき投票を省略し全員当選となります。
- 3.別紙にて役員候補の経歴をご紹介します。ご参照ください。

## 2023 年度 理事会・監事会 推薦名簿

理事会				
	役職	氏名	所属	
	理事	坂爪 浩史	農学研究院 教授	
新任	理事	齋藤 真廣	生協職員	
	理事	林 忠一	北方生物圏フィールド科学センター 職員	
	理事	金川 眞行	総務企画部総務課 職員	
	理事	小篠 隆生	工学研究院 准教授	
	理事	今村 央	水産科学研究院 教授	
	理事	小川 美香子	薬学研究院 教授	
	理事	コリー 紀代	保健科学研究院 助教	
新任	理事	佐々木 好美	工学部系 事務部長	
新任	理事	岩佐 俊明	理学生命科学事務部 事務部長	
	理事	高木 暉馬	文学院 修士 2 年	
	理事	奥山 莉子	工学院 修士 2 年	
	理事	石本 万象	文学部 学生 4 年	
	理事	小松 慎太郎	文学部 学生 4 年	
	理事	野呂 香綸	理学部 学生 4 年	
	理事	逸見 京花	経済学部 学生 3 年	
	理事	田代 直也	工学部 学生 3 年	
	理事	羽木 康祐	法学部 学生 3 年	
新任	理事	萱沼 虎太郎	工学部 学生 3 年	
新任	理事	渡邊 稀羅	農学部 学生 2 年	
新任	理事	石田 きなり	文学部 学生 2 年	
監事会				
	役職	氏名	所属	
	監事	芳賀 永	先端生命科学研究院 教授	大学推薦
	監事	岡野 泰樹	経済学研究院 准教授	
新任	監事	中村 拓也	工学院 修士 1 年	
新任	監事	山崎 瞳子	理学部 学生 4 年	

順不同

## -2022 年度理事会議決事項-

### 第 1 回定例理事会

5 月 27 日 理事全員から書面による同意を得た日  
「みなし理事会形式」で開催

同意理事：理事総数 21 名中 21 名

賛同監事：監事総数 5 名中 5 名

1. 役員等選任および代行順位決定の件
1. 顧問選任および幹部職員任命の件
1. 組織委員等任命の件
1. 理事会委員会設置の件
1. 役員報酬・組織委員手当の決定の件
1. 組織委員会等および監事の活動に要する費用上限決定の件
1. 短期借入金上限額決定の件
1. 代理押印承諾方式採用の件

### 第 2 回定例理事会

6 月 20 日（月）18：15～20:08

北大生協 北大生協会館 3 階会議室

web 会議方式を併用

出席理事：理事総数 21 名中 19 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 5 名出席

1. 2022 年度 4 月営業総括および決算承認の件
1. 2022 年度 5 月営業総括および決算承認の件
1. 組織委員任免の件
1. 日本コープ共済連への出資金決定の件
1. 定期購読の割引率変更の件
1. 北部トラベルセンター設備投資の件

### 第 3 回定例理事会

7 月 27 日（月）18：15～20：18

北大生協会館 3 階会議室

WEB 会議方式を併用

出席理事：理事総数 21 名中 18 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 5 名出席

1. 2022 年 6 月期営業総括および決算承認の件
1. 個人情報保護方針改定の件
1. 組合員等への情報開示に関する規則改定の件
1. 定款一部変更を総代会の議案にする件
1. 内部統制の整備と執行方針の件
1. 組織委員等任免の件
1. 設備投資承認の件

### 臨時理事会

9 月 7 日（水）18：15～19：35

北大生協会館 3 階会議室

WEB 会議方式を併用

出席理事：理事総数 21 名中 15 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 4 名出席

1. 北大生協 3 ヶ年再生計画委員会案の理事会答申の件

### 第 4 回定例理事会

9 月 21 日（水）18：15～20：30

北大生協会館 3 階会議室

WEB 会議方式を併用

出席理事：理事総数 21 名中 15 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 5 名出席

1. 2022 年 7 月期営業総括および決算承認の件
1. 2022 年 8 月期営業総括および決算承認の件
1. 購買水産店の新営施設への移転決定の件
1. 組織委員等任免の件
1. 設備投資の件

### 第 5 回定例理事会

10 月 19 日（水）19：00～20：26

北大生協会館 3 階会議室

WEB 会議方式を併用

出席理事：理事総数 20 名中 20 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 5 名出席

1. 2022 年 9 月期営業総括および決算承認の件
1. 大学生協電子マネー利用規約と IC カード利用改定の件
1. 共済連事業譲渡に伴う残余財産の分配の件

### 第 6 回定例理事会

11 月 24 日（水）18：15～20：30

北大生協会館 3 階会議室

WEB 会議方式を併用

出席理事：理事総数 20 名中 16 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 5 名出席

1. 2022 年 10 月期営業総括および決算承認の件
1. 組織委員等の任免の件
1. 全国総会等の代議員と役員選出の件
1. 2023 年 1 月以降の IC カード規則・付表書いて

### 第 7 回定例理事会

12 月 21 日（水）18：17～20：30

北大生協会館 3 階会議室

WEB 会議方式を併用

出席理事：理事総数 20 名中 17 名出席

出席監事：監事総数 5 名中 5 名出席

1. 2022 年 11 月期営業総括および決算承認の件

1. 日本コープ共済連臨時総会代議員選出の件
1. 「役職員賠償責任保険」加入申込の件

## 第 8 回定例理事会

1月25日（水）18：17～19：30

北大生協会館店3階会議室

WEB会議方式を併用

出席理事：理事総数20名中17名出席

出席監事：監事総数5名中4名出席

1. 2022年12月期営業総括および決算承認の件
1. 幹部職員人事の件
1. 組織委員等任免の件
1. 予算外支出の決裁の件
1. 2023年度通常総代会開催に係る件
1. 2022年度資格喪失組合員の法定脱退の件

## 第 9 回定例理事会

2月22日（水）18：15～20:15

北大生協会館店3階会議室

WEB会議方式を併用

出席理事：理事総数21名中15名出席

出席監事：監事総数5名中4名出席

1. 組織委員等任免の件
1. 北海道ブロック運営委（院生）選出の件
1. 農学部食堂冷蔵庫設備投資の件
1. 2023年1月期の営業総括と決算の件
1. 書籍定期購読の割引率変更の件

## 第 10 回定例理事会

3月22日（水）18：15～20:29

北大生協会館店3階会議室

WEB会議方式を併用

出席理事：理事総数20名中19名出席

出席監事：監事総数5名中5名出席

1. 2022年2月期営業総括および決算承認の件
1. 組織委員等任免の件
1. 2023年度通常総代会開催日変更の件
1. 食堂部門来訪者管理変更の件
1. 2022年度第1回理事会への送り事項決定の件
1. 「3カ年再生計画」策定委員会設置承認の件

## 第 11 回定例理事会

4月19日（水）18:15～19:45

北大生協会館店3階会議室

WEB会議方式を併用

出席理事：理事総数19名中15名出席

出席監事：監事総数5名中3名出席

1. 2023年3月期営業総括および決算承認の件
1. 組織委員等任免の件
1. 事業連合役員候補推薦の件
1. 北海道生協連理事候補推薦の件
1. 2023年度第1回理事会への送り事項決定の件
1. 2023年度通常総代会議案書の件

理事会の様相（議案提案者が会場で実出席、理事監事はZoomを利用してオンライン方式で議論に参加）

